

平成27年度

# 『いわき明星大学 年報』

Annual Report 2015

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

いわき明星大学

## 目次

1. 建学の理念・教育目標・沿革	1
2. 平成27年度巻頭 TOPICS	5
3. 地域連携活動	10
4. 教育改革	14
5. 学生の状況	17
1) 学生募集の状況	17
2) 学生支援	18
3) 就職支援	24
6. キャンパスアメニティー	28
7. 平成27年度事業報告	42
8. 平成27・28年度事業計画	42
9. 組織図（法人・大学）・役員紹介	43
10. 資料	45
1) 大学データ	45
2) 学生データ	47
3) 教職員データ	55
4) 会議データ	55
5) 教育活動	59
6) 社会貢献活動	63
7) 研究活動	64
8) FD・SD研修	65
9) 施設・設備	67
10) 報道・雑誌掲載	69

# 1. 建学の理念・教育目標・沿革

## ■建学の理念

学校法人明星学苑は、建学の精神である「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」を実践することを通して設置する各校から創出された知的財産を活用し社会に貢献するとともに、その活動を通じて教育研究活動の高度化、活性化を図る新たな知的創造サイクルの構築を積極的に推進します。ここに法人の知的財産の管理活用に係わる基本的姿勢を「知的財産ポリシー」として定め、学内外に周知を図りながら使命達成に努力します。

## ■教育目標

○全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成

### ○教育内容と教育方法

大学で学ぶ意識を高める少人数・演習形式の初年次教育  
さまざまな学修歴をもつ学生に対応した効果的な基礎教育  
時代を見据え、地域に根ざし、体験を通して学ぶ専門教育  
専門を超えた探究心と充実した心身を育む教養教育  
きめ細かな個別指導と快適な自習環境の提供による学習支援

## ■沿革

1987 昭和 62 年	3 月	キャンパス竣工
	4 月	いわき明星大学開学
	7 月	学友会設立
	9 月	全天候型テニスコート竣工
	10 月	開学式挙行、「エリーニ像」除幕 「エコーII 世号」台湾から回航
	11 月	学生クラブハウス竣工
1988 昭和 63 年	3 月	理工学部、人文学部「研究紀要」第 1 号発刊
	4 月	各種教員免許課程始まる、聴講生制度発足 学校図書館司書資格関連科目開講
	5 月	第 1 回公開講座
	7 月	研修施設「しおさい荘」開所
	10 月	第 1 回 IMU フェスティバル開催
1989 平成元年	1 月	振動・制御実験センター竣工
	4 月	学芸員、学校図書館司書教諭、資格関連科目開講
1990 平成 2 年	4 月	電子顕微鏡室開設、コンピュータセンターシステム増強

1991 平成 3 年	3 月	第 1 回卒業式挙行、第 1 期生 526 人が卒業
	6 月	初代児玉三夫学長に代わり、第 2 代鈴木辰三郎学長就任
	9 月	「エコー3 世号」台湾から回航
1992 平成 4 年	3 月	大学院 2 研究科 4 専攻各修士課程を設置認可
1993 平成 5 年	10 月	学校法人明星学苑 70 周年記念式典挙行
1994 平成 6 年	3 月	大学院 2 研究科 2 専攻に博士課程を設置認可
1995 平成 7 年	3 月	大学院英米文学専攻修士課程を設置認可、理工系館東館(現科学技術系館東館)竣工
	4 月	第 3 代澤田正三学長就任
	10 月	コンピューターシステムをインターネット対応に一新
1996 平成 8 年	4 月	荒井正大理事長就任
1997 平成 9 年	10 月	いわき明星大学創立 10 周年記念式典挙行
	11 月	いわき明星大学同窓会設立式典を挙行
1998 平成 10 年	3 月	ヨット「エコーII 世号」退役に伴い学内展示
	4 月	ハイテクリサーチセンター開所
1999 平成 11 年	1 月	大学入試センター試験実施
	4 月	第 4 代寺田隆信学長就任
2000 平成 12 年	4 月	第 5 代斎藤和明理事長就任
	5 月	理工学部環境理学科、人文学部言語文化学科、心理学科の設置認可
2001 平成 13 年	4 月	理工学部環境理学科、人文学部言語文化学科、心理学科を設置
	6 月	人文系館別館(実験棟)竣工
	10 月	いわき明星大学父母会設立
2002 平成 14 年	9 月	ヨット「エコー3 世号」退役に伴い学内展示
2003 平成 15 年	2 月	厚生館リニューアル工事完成
	4 月	第 5 代高重正明学長就任
2004 平成 16 年		ハイテクリサーチセンター、産学連携研究センターへ改組
	4 月	高分解能分析電子顕微鏡センター、産学連携センターへ改組
2005 平成 17 年	9 月	科学技術学部 生命環境学科、システムデザイン工学科、人文学部 表現文化学科、大学院人文学研究科 臨床心理学専攻修士課程 設置認可
	3 月	地域交流館竣工
2005 平成 17 年	4 月	科学技術学部 電子情報学科・システムデザイン工学科・生命環境学科

		人文学部表現文化学科 大学院修士課程臨床心理学専攻を設置 心理相談センター開所 福島県立いわき光洋高等学校との高大連携開始
	5月	中国・遼寧石油化工大学と教育及び研究に関する協定締結
2006 平成18年	4月	(財)日本臨床心理士資格認定協会1種指定校認定 福島県立平工業高等学校との高大連携開始
	9月	中国・遼寧石油化工大学との学術交流訪問団派遣開始
	11月	薬学部薬学科 設置認可
2007 平成19年	3月	薬学部棟・学習センター・薬用植物園 竣工
	4月	薬学部薬学科を設置
	6月	陸上競技用グラウンドリニューアル。インフィールドを全面人工芝化
	10月	いわき明星大学創立20周年記念式典挙行
2008 平成20年	5月	中国・瀋陽薬科大学と国際学術交流に関する協定締結
	7月	第6代蔵多得三郎理事長就任
	10月	学校法人明星学苑85周年記念式典挙行
2009 平成21年	4月	第6代関口武司学長就任 福島県立磐城農業高等学校との高大連携開始
2010 平成22年	4月	科学技術学部科学技術学科を設置
	6月	IMUビジネスカレッジ開校
2011 平成23年	4月	ボランティアセンター設置
	6月	福島県立磐城桜が丘高等学校との高大連携開始
	7月	福島県立湯本高等学校との高大連携開始 「いわき復興祭@いわき明星大学」開催
	10月	復興事業センター設置
2012 平成24年	4月	福島県立いわき総合高等学校との高大連携開始
	11月	第7代吉田元一理事長就任
2013 平成25年	4月	第7代山崎洋次学長就任
	11月	双葉郡檜葉町との連携協力協定締結
2014 平成26年	6月	教養学部 地域教養学科 設置認可
2015 平成27年	4月	教養学部 地域教養学科 設置 学修総合支援センター 設置

# いわき明星大学の教育目標と3つのポリシー

## いわき明星大学の教育目標

全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成

## アドミッションポリシー(入学者受入の方針)

いわき明星大学は、本学の教育目標を理解するとともに、学ぶ意欲に溢れ、大学での専門教育を受けるうえで基礎的な能力を身につけている人の入学を希望します。

## カリキュラムポリシー(教育課程編成の方針)

いわき明星大学は、本学の教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成します。

- 大学での学修の意義を理解し、大学生としての学修に必要な基礎的な能力や生活習慣を身につけることができるよう、初年次教育科目を配置します。
- 幅広く多様な基礎的な知識と基本的な学修能力を獲得するための全学共通カリキュラムとして、基礎科目、教養科目、健康・スポーツ科目の3つの科目群を設置します。
- 各学部学科に専門教育科目を設置し、専門的な知識・技術や方法論を段階的・体系的に教授します。
- 地域との連携のもと、課題解決型の授業を展開して、知識・技術の活用能力、コミュニケーション能力、課題探求力、判断力など、社会生活で必須となる能力を総合的に養います。
- キャリア教育を行い、社会人としてのキャリアを積むために必要な知識と考え方を身につけるとともに、働くことを通して地域社会に貢献する意欲を育みます。
- 身につけた知識や技術を統合し集大成するために、卒業研究を全学必修とし、丁寧な個別指導を行います。

## ディプロマポリシー(学位授与の方針)

いわき明星大学は、本学の教育目標に基づく以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

- 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
- 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。
- 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処できる。
- 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

## 2. 平成 27 年度巻頭 TOPICS

### ■学長メッセージ



#### グローバルな人材をめざして

いわき明星大学は 1987 年いわき市からの誘致をうけて学校法人「明星学苑」が開学し、明星学苑の校訓である「健康・真面目・努力」に基づいて、地域に貢献する大学として教育研究を行うことを使命・目標としてきました。本学は人文社会科学系、理工学系、生命科学系、薬学系の教員が揃い、この点を活用した多様性に富んだ肌理の細かい教育によって、地域に貢献できる人材の養成を行っています。

2015 年 4 月から、本学は、教養学部と薬学部の 2 学部による新たな体制の大学として生まれ変わりました。教養学部は、人文学部を改組転換し、地域の求める要望や需要にさらに適合した学部組織・教育課程と成るべく 2015 年に開設された学部です。また 2007 年に発足した薬学部は今春 4 回目の卒業生を送り出しました。薬剤師国家試験合格率は全国的にみても高い水準にあり、初年次からの一貫した本学独自の薬学教育の成果が表れています。

また 2015 年 9 月には、法人機能の即応性、即時性を高めるために新学校法人「いわき明星大学」の設置する大学へ移行いたしました。今後とも「明星学苑」との提携は保たれますが、文字通りいわき市に根ざした大学として地域の高等教育・研究機関として人材養成に努力してまいります。

あまり耳慣れない言葉かもしれませんが、グローカリゼーションという言葉があります。この言葉はグローバリゼーション（世界普遍化）と地域の特色や特性を考慮するローカリゼーション（地域限定化）の二つの単語を組み合わせたものです。本学では、地域の要請に応え得る人材として、グローバルな視点や考え方を身につけて、それを地域に活用、還元できる「グローバルな人材」の養成をめざしています。

「グローバルな人材」の養成こそが新しい教養学部設置の精神であり、教育方針です。学科名称もその教育内容にふさわしい地域教養学科となっています。薬学部も同じく、地域に貢献できるくすりの専門家を引き続いて育てていきます。さらに 2017 年 4 月には、新学部として看護学部が開設されます。

看護学部は、高度な看護力を備えた実践力のある看護師の養成を目標とし、本学独自のカリキュラムに基づいて教育を行います。そして既設の薬学部と協同して地域における医療人養成の一翼を担ってまいります。

これ等の人材養成、本学では地域基盤型職業人と呼んでいますが、地域基盤型職業人養成の目的を達成するため、教職員は本学入学をめざす皆さんの強力なサポーターであるとともに良きパートナーとして力を尽くしたいと思っています。

教育とは学生や生徒が好ましい変化をうけることができる邂逅（めぐりあい）でなければなりません。好ましい変化とは、個々によっても異なり一口で表すことは難しいものですが、少なくとも、入学される皆さんが、いわき明星大学で学んだことによってそれぞれの夢や希望がかなえられ、社会人として自立できるものと信じています。

いわき明星大学 学長 医学博士山崎 洋次



## ■学校法人いわき明星大学の設置

平成 27 年 8 月、いわき明星大学は今後もいわき市において地域に貢献する大学として継続していくために、学校法人明星学苑（東京都日野市）から分離・新設する形で「学校法人いわき明星大学」を設立し、平成 28 年 4 月 1 日からいわき明星大学の設置者を学校法人いわき明星大学へ変更します。

新学校法人設立・設置者変更にあたっては、現行の学部学科や教育研究体制及び教育課程等の教育研究内容等、あるいは学費等の変更は一切行わず、現在大学に在籍または入学する学生の方々ならびに保護者の方々においてもこの設置者変更によって不利益が生じることは一切ないようにし、法人本部を大学内に設置し、大学の自立性と地域性を高め、経営と教学とがより密接に協働して効果的に作用することができる体制とします。

### 新学校法人設立に係る手続経緯

○平成 26 年 12 月 19 日

平成 26 年度第 8 回学校法人明星学苑理事会において、いわき明星大学の設置者変更に係る学校法人分離・新設の基本方針及び基本計画が決議されました。

これに伴い、学校法人明星学苑から独立した任意団体として、小川哲生副理事長を委員長、山崎洋次いわき明星大学学長を副委員長とする学校法人いわき明星大学設立準備委員会が組織され、当該新法人の寄附行為認可申請を本委員会が行うこととしました。

○平成 27 年 1 月 23 日、2 月 27 日、3 月 20 日に学校法人いわき明星大学設立準備委員会が開催され、以下の事項を決定しました。

- ①学校法人いわき明星大学設立準備委員会規約
- ②委員会の委員及び顧問並びに委員会事務局
- ③学校法人の名称
- ④新法人設立計画策定の重要事項、スケジュール、申請業務内容
- ⑤学校法人いわき明星大学設立趣意書
- ⑥学校法人いわき明星大学寄附行為
- ⑦学校法人いわき明星大学役員
- ⑧学校法人いわき明星大学理事長（小川委員長を選任）
- ⑨学校法人いわき明星大学設立決議

○平成 27 年 3 月末

「学校法人いわき明星大学寄附行為認可申請書」を、文部科学省へ提出

○平成 27 年 8 月 30 日

学校法人いわき明星大学寄附行為認可

○平成 27 年 9 月 11 日

学校法人いわき明星大学法人登記

○平成 28 年 4 月 1 日

いわき明星大学の設置者を学校法人いわき明星大学へ変更



## ■教養学部開設

産業構造の急激な変化やグローバル化の進展により、大学に対する、社会に適応した人材養成の要望は一層強くなるとともに、その内容も変化してきた中、本学が地元企業等に行った調査では、社会が求める人材像としては「コミュニケーション能力、ビジネスマナー、忍耐力を備えた人材」や「PC スキル、語学力、資格取得など仕事に活かせるスキルを備えた人材」であり、学科の専門性に特化した人材よりも、社会人基礎力を備えた幅広い教養を身につけ、様々な変化に対する適応力が高い人材のニーズが高まっていることがより明確になっていました。

そのような中、既存の人文学部は、表現文化学科、現代社会学科、心理学科の 3 学科により構成され、文学・語学、社会学、心理学を中心とした文学分野及び社会学・社会福祉学分野における知見を有した人材養成に努めてきましたが、それぞれの学科が学問分野の専門性に重点を置いてきたため、上記の社会人基礎力などの養成が十分に行われていたとは言えず、社会が求める人材像の変化やニーズの高まりに対して、教育内容が伴っていない状況となっていました。

また、学生募集においては、少子化に伴う志願者数の減少に加え、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響により、人文学部の志願者数は、平成 23 年度に比べ平成 26 年度は 61%の減少という厳しい学生募集状況となっている一方、地域社会の本学に対する期待は、現在においても失われていないことから、地域社会の求める人材養成により応えるべく改組転換することとしました。

地域にある大学として、これまでの地域のニーズとの乖離を改め、「全人教育に基づいた、地域に貢献できる人を育成する」という本学の教育目標を徹底することによって、いわき市及び福島県をはじめとする地域に、より有為な人材を輩出し、地域になくってはならない大学として教育研究活動を展開していくことにあり、この責務を果たすため、平成 27 年 4 月に人文学部を改組転換して、「教養学部 地域教養学科」を開設しました。

人文学部にあっては 3 つの学科によってそれぞれの分野において高度な専門性を備えた人材を養成してきましたが、教養学部においては、学科制やコース制よりも柔軟な履修によって多様な人材養成が可能な「メジャー制」を導入し、メジャー科目とサブメジャー科目からなる構成としました。人文学部の専門分野である文学分野と社会学・社会福祉学分野にわたったメジャーに加えて、実社会での活動に活かすための基本的知識やスキルを補完・補強するためサブメジャーを履修させることにより幅広い教育を行います。

メジャーは、専攻の軸となるものであり、人文学部において培われてきた多岐にわたる教育研究のなかでも言語・心理・社会の 3 領域を引き継ぎ、コミュニケーションや人間理解、社会の在り方などについての学究を深めて地域での活動に活かしていくものとして、「国際コミュニケーション」「心理と人間行動」「地域と社会」の 3 つの専攻分野から構成となっています。

サブメジャーは、メジャーにおける専門性を踏まえつつ、地域教養学科の趣旨に則った幅広い学修と地域社会での活動に活かすための基本的知識やスキルを修得するための補完・補強の科目群として設定しました。いわき市を中心とした地域において必要とされる人材像について、復興事業の

推進、公共政策等の立案、地域産業の活性化、情報の発信、教育の充実などへ貢献できる人材であることを想定し、「復興支援」「地域公共政策」「地域とビジネス」「ICT」「日本語・日本文化」「教職」の6つのサブメジャーを設定しました。

## ■ハワイアンズインターンシップ

平成27年度から新しい取り組みとして常磐興産株式会社のご協力のもと、3週間にわたるスパリゾートハワイアンズでのインターンシップが開始され、この年は27名が参加しました。

また、10月3日（土）には、インターンシップに参加した学生による成果報告会が行われ、スパリゾートハワイアンズのご担当者から貴重なご意見・アドバイス等をいただきました。報告会終了後には、同社より、インターンシップを行った27名に対して感謝状が手渡されました。

## ■ユニバーサルデザインセンター設立へ

いわき明星大学では、障害者基本法やその他の法令の定めに基づき、障害のある学生が教育機会を逸することのないよう、障害の種別及び程度に応じて十分な教育が受けられるよう支援を行うため、平成28年4月よりユニバーサルデザインセンターを設立しました。

当センターの設立に当たっては、平成27年度にユニバーサルデザインセンター設立検討委員会を発足し、各学部代表の教員をはじめ、教学担当事務局や保健管理センター職員による委員が半年以上にわたって支援内容や方法について協議を重ね、学長に答申。翌年の開設に向けて準備を進めてきました。

### <実施されている支援>

- ・ 使用教室の配慮
- ・ 座席位置の配慮
- ・ 講義形態の変更（特別授業への変更（健康・スポーツ1、2））
- ・ 情報保障のための配慮（板書等の撮影、講義内容の録音）
- ・ 学内・学外実習に伴う配慮（作業量の軽減、作業内容の変更）
- ・ 受診に伴う報告書作成、教員への連絡
- ・ 補助器具（ルーペ、補聴器 他）の使用
- ・ 障害の特性を把握した具体的な指示やグループワーク参加への促し
- ・ 休憩場所の確保 等

### <ユニバーサルデザインセンター>

受付 : 本館2階 保健管理センター内  
対応日時 : 月曜日～金曜日 9:00～17:00  
電話 : 0246-29-5404  
Eメール : imudc@iwakimu.ac.jp

## ■看護学部開設準備

平成 29 年 4 月の開設を目指し、平成 26 年 10 月に看護学部の設置計画を発表し、平成 28 年 3 月に看護学部の設置認可を文部科学省に申請しました。

平成 23 年の東日本大震災ならびに福島第一原子力発電所事故以前から、本学にはいわき市関係者をはじめ多くの方々から医療系、特に看護系の学部設置が強く要望されていました。このような状況を鑑み、本学では、教養学部と薬学部による地域社会への人材輩出による貢献の他に、地域からのご要望の強い看護学部を設置して、看護師という地域医療の担い手となる人材を養成することで、更なる地域貢献を推進していくこととしました。

本学において看護学部を設置することは、薬学部で培ってきた医療教育資源を有効に活用することで、看護学部においても高度な専門知識をもち、かつ医療の担い手として適切・迅速に対応できる広い教養と基礎学力、そして問題解決能力のある看護師を養成することが可能となり、また、薬学部との連携によって、看護学部と薬学部のシナジー効果が期待され、教育の質の向上と効率化につながることができます。加えて教養学部の教育との連携によって、三学部が三位一体となって地域のための医療人の育成を行います。

看護学部関係の施設は、6 号館北棟を改修し、90 人を収容する講義室 2 室のほか、それぞれの看護の領域の実習室 4 室、カンファレンス室 6 室、学部長室、学部事務室、男女ロッカー室等を整備します。

教員組織は、30 名の教授、准教授、講師、助教合計 30 名体制となっており、各領域において教育や研究の実績のある教員を配置します。

学内での実習のほか、市内 9 病院、23 施設、市外の 1 病院、2 施設を実習施設として隣地実習を実施します。

本学看護学部では、看護師の養成に加えて、保健福祉活動や保健予防活動を通じて地域社会の保健医療福祉の向上に寄与することのできる保健師も養成します。具体的には、健康課題を生活者の視点でとらえ、いわき市保健所や地域包括支援センター、県設置の保健所、周辺自治体での多職種連携を通じて展開される保健活動について理解し、地域で生活している個人・家族・集団・地域を対象とした健康の維持・増進活動を展開することのできる人材を養成します。

### 3. 地域連携活動

#### ■地域連携協議会の設立（経緯・活動・成果）

昭和 62 年の創立以来、いわき明星大学では地域に開かれた大学として活動しており、市民向け公開講座、出前講座の実施、大学施設の貸出し、市内高校との高大連携事業、図書館の一般開放、産学連携研究センターを設置し、企業との交流、震災以降の文部科学省補助事業等全力を挙げて取り組んできました。

平成 27 年 5 月、いわき明星大学は地域の高等教育機関としての役割を果たすため、教育研究の一層の充実、振興を図り、地元企業、団体への課題解決型プログラムの提供、教育機関への出前授業などの諸事業を通して、地域社会への発展に寄与することを最優先に掲げ、更にいわき市を中心とする地域の付託や多様なニーズに応えるため、「地域産業の活性化と地域人材の育成」と後期中等教育機関、企業、団体、いわき明星大学間の連携を円滑かつ有効に機能することを目的とし、「いわき明星大学地域連携協議会」を設立しました。

#### <設立発起人>

いわき市長、福島県いわき地方振興局局長、いわき商工会議所会頭、  
いわき地区商工会連携協議会会長、福島県校長協会大学入試対策委員会

#### <活動>

平成 27 年度

7 月 21 日 設立総会

11 月 10 日 産業部会情報交換会

12 月 18 日 ふたば未来高校「大学生と高校生とのグループワーク」

他、教育部会活動として、高校への出前講座、一日総合大学（大学体験）実施

## ■復興事業センター

東日本大震災の発生した平成 23 年の 10 月に立ち上げたいわき明星大学復興事業センターは、同年 9 月から採択した文部科学省の補助事業「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」として「いわき地域復興センター」の運営を行ってきた。震災から 5 年を経た平成 27 年度で同補助事業が終了するのを受け、大学の復興事業センターも次年度に向けて組織体制を一新することを計画し、5 年間の集大成となる活動を行いました。

### ▼[上荒川事務所の活動・食品等の環境放射線測定事業・震災記録の保存事業](#)

## ■復興教育支援事業

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故による被害により、福島県をはじめとした被災地を中心にエネルギー教育、放射線に関する教育の必要性が高まりました。

平成 14 年度から「いわき明星大学エネルギー教育研究会」の活動として地域の小・中学校等に対してエネルギー教育を実施していた本学では、文部科学省、経産省、資源エネルギー庁等の協力を得て復興教育支援事業を展開してきました。平成 27 年度の主な活動は次の通りです。

○文部科学省委託事業「科学的な理解をすすめる放射線教育セミナー」支援

5 月 12 日	文部科学省放射線教育事業委託先エネルギー・環境理科教育推進研究所より、外部評価委員委嘱
6 月 8 日	エネルギー環境理科教育推進研究所事業、放射線教育外部評価委員会出席
8 月 21 日	静岡県教委主催校長・教頭管理職原子力防災教育研修会へ出講（静岡掛川市）
8 月 26 日	いわき市立好間第二小学校児童・教員放射線セミナー出講
9 月 2 日	エネルギー・理科環境教育推進研究所外部評価委員会出席（東京）
10 月 5 日	福島市立三河台小学校放射線教室・教員研修会へ出講（福島市）
10 月 13 日	いわき市立平第四小学校放射線教室・教員研修会へ出講
10 月 20 日	いわき市立平第三中学校放射線教室・教員研修会へ出講
10 月 23 日	いわき市立小玉小学校放射線指導法教員研修会へ出講
11 月 10 日	いわき市立菊田小学校放射線指導法教員研修会へ出講
12 月 1 日	いわき市立勿来第一中学校放射線教室・教員研修会へ出講
12 月 2 日	檜葉町立檜葉中学校放射線教室・教員研修会へ出講
12 月 15 日	広野町立広野小学校放射線測定実験教室・教員研修会へ出講
12 月 21 日	いわき市立三和中学校放射線教室・教員研修会へ出講
1 月 26 日	小野町立飯豊小学校放射線教室・教員研修会へ出講
2 月 4 日	いわき市立四倉小学校放射線教室・教員研修出講
2 月 9 日	いわき市立平第二小学校放射線教室・教員研修会出講
2 月 15 日	文部科学省事業放射線教育外部運営評価委員会（東京）
2 月 17 日	日本科学技術館全国科学館エネルギー教育研修会出講
2 月 22 日	福井県美浜地区エネルギー教育研修会出講（福井県美浜市）
2 月 22 日	いわき市立平第二中学校放射線教室教員研修会出講

○資源エネルギー庁委託事業支援

5月15日	資源エネルギー庁事業委託先日本科学技術振興財団エネルギー教育部より、エネルギー体験教室・教員セミナー外部評価委員委嘱
5月16日	資源エネルギー庁委託事業、日本科学技術振興財団よりエネルギー教育モデル化推進委員会委員に委嘱
6月15日	第1回日本科学技術振興財団エネルギー体験教室・教員セミナー外部評価委員会出席、 本年度事業概要説明を受け、運営について協議を行った。
6月21日	資源エネルギー庁委託事業エネルギー教育モデル化推進委員会出席（東京）
7月11日	全国エネルギー教育実践校指導会コーディネーター出講（東京）
7月27日	資源エネルギー庁主催エネルギー環境教育実践校研究協議会コーディネーター出講（東京）
9月17日～18日	公益財団法人日本科学技術振興財団主催エネルギー・放射線に関する研修会へ出講
11月21日	資源エネルギー庁委託事業エネルギー教育モデル化推進委員会出席（東京）
12月10日	福井県敦賀地区若手経営者エネルギー講演会出講（福井県敦賀）

○いわき明星大学エネルギー教育研究会 地域貢献活動

6月30日	いわき市立郷ヶ丘小学校エネルギー教室出張授業出講
7月9日	福島県立湖南高校再生可能エネルギー教育モデル校来学、授業出講
8月4日	教員免許状更新講習会「環境エネルギー教育」出講
8月19日	日本私学協会全国教員研修会社会科部会「環境エネルギー防災教育」出講（東京）
8月28日	福島県教委再生可能エネルギー教育モデル校小名浜第一小学校授業出講
9月8日	檜葉町立檜葉中学校来学、環境エネルギー教室出講
9月9日	いわき市立中央台北中学校来学、エネルギー・防災教室出講
9月29日	中島村立中島中学校再生可能エネルギー教育モデル校来学、授業出講
10月6日	福島市立福島三小再生可能エネルギー教育モデル校エネルギー教室へ出講（福島）
10月9日	会津若松市立城北小学校地球温暖化教室へ出講（会津若松市）
10月14日	福島県立安達高校再生可能エネルギー教育モデル校へ出講（二本松市）
10月15日	南会津郡南会津町立田島小学校エネルギー教室へ出講（南会津町）
10月16日	会津若松市立湊小学校再生可能エネルギー教育モデル校へ出講（会津若松市）
11月5日	福島市立福島第三小学校再生可能エネルギー教育モデル校来学、授業出講
1月20日	福島県立ふたば未来学園高等学校エネルギー教室出前授業出講

## ■地域基盤型客員教授

いわき明星大学地域基盤型客員教授は、福島県東部（浜通り）ならびに茨城県北部における産業、報道、行政、教育等、各回の有識者に地域振興にかかわる教育・研究・開発を委嘱することを目的に平成 27 年度から始まった制度で、本学に対する前掲地域からの要望を集約し、また学生の就職に関する助言、支援をいただくなど、地域と大学をより強固につなぐ役割を果たしています。

平成 27 年度には、次の方々が地域基盤型客員教授として招聘されました。

- ・ 塩 光輝 氏（元茨城大学教授）
- ・ 夏井芳徳 氏（いわき市図書館長）
- ・ 佐々木吉晴 氏（いわき市立美術館長）
- ・ 小宅幸一 氏（いわき地域学会幹事、市嘱託職員）
- ・ 新家利一 氏（いわき市保健所長）
- ・ 新谷史明 氏（総合磐城共立病院院長）
- ・ 川口美岐男 氏（いわき産官学ネットワーク協会事務局長）
- ・ 長谷川徳男 氏（いわき市医師会会長）
- ・ 日比野郁夫 氏（元アルプス電気）

## ■各種講座

### ▼「平成 27 年度実績」



## 4. 教育改革

### ■学修総合支援センター

学修総合支援センター（Center for Learning Assistance and Support Services：通称 GLASS）は、いわき明星大学の教育目標である「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」に基づき、学生の学修活動への直接的・間接的な支援を行い、学力の向上と定着を目指すとともに、就職力の強化を図ることを目的として、2015年4月に設置されました。

また、同時に重要な教育ツールである情報通信技術 I C Tにかかわる企画・運営にも関与しています。

#### 1. 補習（リメディアル）教育

学士力養成のための基礎学力の向上を目的として、対面式学習と e-learning 学習を組み合わせた効果的なリメディアル教育を実施し、授業⇒リメディアル学習⇒授業というサイクルを全学的に共有・確立することにより、学力の全学的な底上げを図る。

#### 2. 教職課程の総合支援

地域のニーズに応える優れた教員を養成するという本学の使命を達成する目的で、教職課程履修の支援、および教員採用試験対策の強化に取り組む。

#### 3. 初年次教育・キャリア教育刷新のための支援

大学生活への速やかな適応、基本スキルの修得、キャリアデザイン意識の醸成を目的とした、新カリキュラムによる全学共通初年次教育、および、これを「プレ」段階として、プレキャリア教育⇒本キャリア教育⇒就活教育⇒就活と、4年間を通して体系的に積み上げていくキャリア教育プログラムの整備・運営の支援を行う。

### ■アクティブラーニング

本学では、アクティブラーニングを学習環境からも推進すべく、平成 27 年度にアクティブラーニング教室を増設しました。従来、中規模教室（50～60 名収容）は可動型の机、椅子を採用していましたが、大規模教室（100～300 名収容）は固定された机、椅子のため、受講者数の多い授業では、グループワークやディスカッションの実施が困難な状況でした。平成 26 年度に、大規模教室の 1 つを可動型の机、椅子に変え、グループごとにプレゼンテーションが行えるよう、プロジェクターやスクリーン、ホワイトボードなどを整備し、Wifi などの通信環境も整備しました。平成 27 年度は、新たに教室を増設し、前述の設備に加え、インタラクティブボードの設置、壁面全体をホワイトボードにするなど、さらに充実した学習環境を整えました。

また、全教職員を対象とした FSDS 研修会において、アクティブラーニングをテーマとした研修を実施し、学生の主体的な学修の実現を支援しています。

## ■ ICT

- ・新入生向けタブレットPC（平成27年度より導入）

導入台数 200台

型式 日本HP HP x2 210 G2



利用状況（学生1人あたりの学内ネットワーク接続時間〔時間〕）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	平均
薬学部	27.8	33.3	30.2	32.2	2.2	14.5	25.0	15.9	11.4	16.1	20.9
教養学部	21.2	32.2	35.0	25.2	3.4	11.7	16.8	19.6	9.5	14.0	18.9

- ・e-ポートフォリオ（平成年度より導入）

導入システム 株式会社朝日ネット manaba course2

利用コース数 254コース

## ■フレッシュャーズセミナー

本学の教養学部では、高校から大学への円滑な移行を図るため、フレッシュャーズセミナー1・2を実施しています。平成27年4月の教養学部設置に合わせて設計された初年次教育プログラムで、教育目標は以下の3点です。

- ①高校と大学の違いを理解し自律的な学修習慣・マナー・自己管理能力を身に付けること
- ②大学で学ぶための基本的なスタディ・スキル（図書館の利用法・レポートの書き方・日本語リテラシーなど）を身に付け、専門科目への橋渡しを行うこと
- ③グループワーク等を通して、大学内に豊かな人間関係を形成すること

授業の最も大きな特徴は、少人数制でのクラス運営です。1クラス22～23名に対し、教員3名と学生サポート1名を配置し、本学の教育理念である「手塩に掛ける教育」を実践しています。また、前期と後期に少なくとも1回は全学生と個別面談を行い、学生の状況把握を行っています。

また、特徴として、年間60コマ（前期30コマ・後期30コマ）をアクティブラーニング形式で実施している点や、1コマごとに教本を作成し、事前に教員間で共有を行っていることが挙げられます。平成27年度の成果として最も強調すべき点は、教養学部の年間退学者数0名を実現できた点です。学生の授業評価アンケートにおいても、年間4.40/5.00という高い評価を得ることができました。今後も内容を改善していくことによって、退学者の防止と大学生活への円滑な移行を推進していきます。

## ■キャリア教育

本学の教養学部では、1年次のフレッシューズセミナー（1・2）、2年次のキャリアデザイン（1・2・特講A）、3年次のキャリアデザイン（3・4・特講B）及びインターンシップの各授業を中心に、段階的にキャリア教育を実施しています。

平成27年度は、教養学部の開設年度であるため、1年次のフレッシューズセミナー（1・2）のみの展開でしたが、入学直後のコミュニケーション研修で2日間、豊かな人間関係をつくる土台作りから始まり、「生徒」から「学生」へ、主体的な学びへと導く、さまざまなプログラムが実践されました。図書館の活用、レポートや論文の書き方、語学やコンピュータのリテラシー教育など、大学での学びのスタディスキルをしっかりと身につけ、フィールドワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを通じ、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性などいわゆる学力の3要素といわれる力も重視しながら実施しています。中でも、「学食メニューを提案しよう」というテーマでは、実際に学生が考案したメニューを教職員が審査し、評価の高かったメニューを提供しました。

薬学部では、薬剤師国家試験合格と、卒業後の薬剤師を主とした医療人としての自己実現という目標達成に向け、1年次から「イグナイト教育」という本学独自の授業プログラムを段階的に展開しています。1年次から病院や薬局、製薬会社などで実習見学を実施したり、アナウンサーによるコミュニケーション講演、がんを克服された方や薬害に遭われた方の講演を授業に取り入れるなど、知識や技術だけではなく、人間性豊かな医療人となるための充実したプログラムを実施しています。

## 5. 学生の状況

### 1) 学生募集の状況

定員充足を目指し、カリキュラムや教育目標を受験生へ周知するため、以下②の事業を実施してきました。しかし、教養学部における入学者数は99名（入学定員充足率49.5%）、薬学部の入学者数は79名（入学定員充足率87.8%）となり、両学部ともに定員を充足することができませんでした。

#### ■主な活動

- ・ 新入生31名により夏季に母校へ訪問、近況の報告と本学の広報を実施。
- ・ オープンキャンパスでは、来場者（高校生）の利便性を高め、誘引することを目的とし、無料送迎バスを7地区にて運行、さらに高校から大学までの直通バスを6本運行しました。しかしながら、受験対象である高校3年生の来場者数は昨年度から12%減少してしまいました（H26高校3年生244名→H27高校3年生214名）。
- ・ オープンキャンパスとは異なった、キャンパスライフの実体験を主とした『大学体験・見学会（ハッピーマンデー公開授業）』を10月・11月の2回実施。10月では33名、11月では17名の高校生が来学、実際の授業や在学生とのキャンパスランチ、学修総合支援センターでの資格支援など、大学体験から本学の魅力を強く伝えることができました。
- ・ 教養学部では、特に福島県内を重点地区として、高校訪問を中心に、高校内進学ガイダンス参加や高校との総合大学を実施し、地域における学び＝本学の魅力・特色＝福島における就職を訴え、県内入学生を10%増加させることができました（教養学部H27県内入学数70名→教養学部H28県内入学数77名）。また、薬学部においては薬剤師国家試験の合格率や、教育の大きな特長である「イグナイト教育」を中心に、県外高校へも近接する薬学系大学との教育成果の『差』を発信、県外入学生が25%増加しました（薬学部H27県外入学数33名→薬学部H28県外入学数44名）。
- ・ 教養学部吹奏楽特待入試を本格的に入試へ導入、全国大会出場経験者を中心に、吹奏楽技術の高い生徒を獲得することができました（教養学部吹奏特待入試 H27 入学数 5 名→教養学部吹奏特待入試 H28 入学数 16 名）。
- ・ いわき明星大学ホームページを大幅にリニューアル、スマートフォンやタブレットでも閲覧しやすい『フラットベース』型を採用、また、アニメーションキャラクターを継続し、SNSを中心とした大学・募集広報を展開してきました。リニューアル後から年度末までのセッション数が昨年比8.31%増加しました。

## ■平成27年度 いわき明星大学入学試験

### 1. 募集定員

	A O	推薦	一般		センター利用		合計
			1期	2期	A	B	
教養学部 地域教養学科	30	100	25	10	25	10	200
薬学部 薬学科	5	25	10	5	30	15	90
合計	35	125	35	15	55	25	290

※社会人特別入試（教養学部）の募集定員は若干名。

### 2. 入試日程

#### 入試スケジュール

入試種別		出願期間	選考日	合格発表	手続締切
A O	1期	8/17(月)～9/10(木)	一次:書類審査	一次:9/18(金)	12/18(金)
			二次小論提出期限:10/2(金)	二次:10/16(金)	
			二次:10/11(日)		
	2期	10/30(金)～11/20(金)	一次:書類審査	一次:11/27(金)	1/15(金)
二次小論提出期限:12/7(月)	二次:12/18(金)				
二次:12/12(土)					
吹奏楽特待A O	1期	8/17(月)～10/2(金)	10/11(日)	10/16(金)	12/18(金)
	2期	11/18(水)～12/4(金)	12/12(土)	12/18(金)	1/15(金)
専門高校・総合学科特別A O		8/17(月)～10/2(金)	10/11(日)	10/16(金)	12/18(金)
指定校推薦/公募推薦1期		10/8(木)～11/4(水)	11/8(日)	11/13(金)	12/18(金)
社会人特別*					
公募推薦2期		11/18(水)～12/4(金)	12/12(土)	12/18(金)	1/15(金)
自己推薦		2/1(月)～2/24(水)	3/1(火)	3/4(金)	3/25(金)
一般	1期	1/7(木)～1/26(火)12:00 必着(願書:大学持込可)	1/27(水)	1/29(金)	2/15(月)
	2期	2/1(月)～2/16(火)12:00 必着(願書:大学持込可)	2/17(水)	2/19(金)	3/3(木)
センター試験利用	A日程	1/7(木)～1/29(金)	大学独自の試験は 実施しない	2/8(月)	2/15(月)
	B日程	2/1(月)～2/16(火)必着		2/19(金)	3/3(木)
	C日程	2/22(月)～3/11(金)		3/18(金)	3/25(金)

## 2) 学生支援

### ■チューター制度

本学では、学生の満足度を向上させ、離籍率の低下を図ることを主な目的に、専任教員が学生一人一人を担当するチューター制度を導入しています。学生の成績（GPA）や履修状況等を考慮しながら履修相談や日常生活における相談、学生指導を行うことで学生の修学指導に責任を持ち、

学生個々人の状況にあわせてきめ細やかな指導を実施しています。各学期のガイダンス時を始め、随時チューターとして担当している学生と面談を実施しています。

面談後、Web 学生カルテへ面談内容を入力し情報の共有を図っています。

## ■学生情報の開示・共有化

本学では、教員と事務職員の連携により、学生情報の共有化を図っています。学生の授業への出席状況は、出席管理システムによって定期的な確認を行い、欠席の多い学生は担当教員（チューター等）へ連絡し、面談等をとおして指導、支援を行っています。また、教員による学生面談を定期的実施し、面談内容を学内システムに蓄積し、学生情報の共有化を図っています。閲覧権限を設定し、個人情報の取扱いにも学内基準を設け、運用しています。

## ■NGA活動

New Generation Assistant — “いきいき” としての学生が、大学全体を“いきいき”とした場所にし、さらには地域（いわき）にも“いきいき”を伝染させていく。そんなビジョンのもと、2015年4月に創設したのが、学生組織『NGA』です。

NGA は主にチームで活動しており、「イベント班」「オープンキャンパス班」「ボランティア班」「広報班」の4班から構成されています。各班で議論された課題点や企画案を月1回の全体会議で報告・共有し、承認された企画については NGA 全員で実行に移す、という考え方が基本原則となっています。

平成27年度は創設初年度ということもあり、試行錯誤しながらの活動でした。スタートアップ合宿に始まり、新入生歓迎会、オープンキャンパス、学内ゴミ拾い、学園祭等、1年を通して精力的な活動を行いました。平成28年度は前年を上回るスケールの事業を計画しています。まだまだ認知度は高くありませんが、学内の中心的な存在となるべく、積極的に活動していきます。

## ■部活動報告

### ○吹奏楽団成績報告

「第53回福島県吹奏楽コンクール」 金賞・県知事賞受賞（福島県代表）

「全日本吹奏楽コンクール第58回東北大会」 銀賞受賞



全日本吹奏楽コンクール  
第58回東北大会

「第43回福島県アンサンブルコンテスト」いわき支部大会

クラリネット四重奏、打楽器三重奏、金管三重奏が揃って金賞受賞

「第43回福島県アンサンブルコンテスト」クラリネット四重奏 金賞受賞（福島県代表）

「全日本アンサンブルコンテスト第43回東北大会」 銅賞受賞



○体育会本部所属団体成績報告

**弓道部**

第11回福島県学生弓道選手権大会 5位

**硬式庭球部**

平成27年9月18日～27日 全日本大学対抗テニス王座決定試合東北地区大会  
第5部リーグ3位（リーグ残留）

**自動車部**

秋田大学主催ジムカーナ・ドリフト大会 ドリフト優勝

第2戦もっとおきらくジムカーナ大会 N3クラス優勝

第3戦もっとおきらくジムカーナ大会 N3クラス2位

東北大学主催ジムカーナ大会 ジムカーナビギナークラス優勝

東北大学主催ジムカーナ大会 オープン1.2クラス3位

TKGジムカーナ大会 グリップクラス優勝

山形大学主催ジムカーナ大会 ジムカーナクローズドクラス優勝

第4戦もっとおきらくジムカーナ大会 N3クラス3位入賞 N4クラス2位入賞

第2戦TKGジムカーナ大会 グリップクラス優勝 ドリフトクラス3位入賞

東北学院大学主催ジムカーナ・ドリフト大会 ジムカーナオープン1,2クラス3位入賞、  
ドリフト優勝

3トライジムカーナ第9戦 クローズドクラス優勝

3トライジムカーナ第10戦 クローズドクラス優勝

**水泳部**

福島県大学対抗春期水泳大会「大沢杯争奪戦」 女子総合2位

50mバタフライ1位/平泳ぎ1位/背泳ぎ1位、2位/クロール1位

**木球同好会**

第11回全日本大学木球選手権大会 男子団体優勝 個人戦2位、4位、6位入賞

第8回アジア大学木球選手権大会 男子団体日本チーム3位入賞

第14回日本オープン木球国際選手権大会 男子団体戦3位入賞

第10回日本木球選手権大会（日本選手権）個人戦6位入賞

○学友会功労者表彰式

日時：平成28年1月21日（木）18：45～（祝賀会 19：20～）

場所：本館1階 教員談話室

[受賞者]

◎優秀団体賞

- ・学生赤十字奉仕部

（学内献血活動、学外での地域に密着したボランティア活動に尽力）

- ・表現文化学科学生実行委員会

（表現文化祭の企画・運営に尽力）



◎優秀個人賞

- ・澤田祥孝さん [現代社会学科 4年 木球同好会]  
(全日本大学木球選手権大会において男子個人2位など)
- ・志賀亮太さん [科学技術学科 3年 硬式庭球部]  
(全日本大学対抗テニス王座決定試合東北地方大会において通算成績19勝など)

○学園祭報告

日時：平成27年10月24日(土)～10月25日(日)開催

来場者数 10/24(土) 2,446名 10/25(日) 1,782名

ライブ入場者数 1,417名

トークショー入場者数 223名

○文化発表会報告

日時：平成27年11月9日(月)～11月13日(金)

場所：図書館・学習センター

参加団体：Comic Art部・美術部・ソフトウェア研究部・写真部・文芸同好会

■奨学金状況報告

平成27年度の奨学金採用状況は以下のとおりです。

○本学独自の奨学金

名称	種別	採用人数		
		学部	大学院	計
いわき明星大学奨学金(特待生)	給付	6	—	6
いわき明星大学奨学金(給付)	給付	59	3	62
いわき明星大学勤労奨学金	給付	30	0	30
修学支援緊急奨学金	学費減免	7	0	7
明星ファミリー奨学金	学費減免	19	—	19
合計		121	3	124

○学外の奨学金

名称	種別	採用人数		
		学部	大学院	計
日本学生支援機構奨学金	貸与	484	7	491
福島県奨学資金	貸与	5	0	5
その他 地方公共団体奨学金	貸与	1	0	1
三菱商事復興支援財団奨学金	給付	3	0	3
いわき信用組合奨学金	給付	3	0	3

クリナップ財団奨学金	給付	2	0	2
河内奨学財団奨学金	給付	2	0	2
その他 民間奨学金	給付	3	0	3
合計		503	7	510

## ■保健管理報告

### ○保健管理センター学生相談部門

学生をはじめご家族、教職員など「学生支援に関わる全ての方」を対象に、心理的援助サービスを提供しています。学生一人ひとりの成長を支える場として、2015年度は延べ4,700名もの皆様にご活用いただきました。利用者が、生きていくうえで誰もが抱えうる、当たり前の苦勞について考え、悩み、共に語りあえる人と出会い、仲間との縁を結び、生きる力を育てていくことができる——学生相談部門は、個別相談や学生サロン運営を通じて、このような教育・発達促進的機会を提供しています。特に学生サロンは、人と人とのつながりを創造する場として、学生のみならず、教職員や地域の皆様にご協力いただき、大小さまざまなイベントを開催しています。学生5人に一人が利用経験を持つ、利用度の高い場所になっています。

月	日	学生サロンの主なプログラム
4	15日(水)	ランチセッション&レクリエーション
	22日(水)	レクリエーション
5	13日(水)	ランチセッション&レクリエーション
	20日(水)	コミュニケーション・スキルアップ・セミナー
	27日(火)	初夏の学内散策
6	3日(水)	ランチセッション&レクリエーション
	17日(水)	コミュニケーション・スキルアップ・セミナー
7	1日(水)	ランチセッション&レクリエーション
	8日(水)	ランチセッション&七夕飾り作り
9	30日(水)	コミュニケーション・スキルアップ・セミナー
10	14日(水)	ランチセッション&レクリエーション with 教学スタッフ
	28日(水)	ランチセッション&レクリエーション with 教学スタッフ
11	11日(水)	秋の学内散策
	18日(水)	ランチセッション&レクリエーション with 教学スタッフ
	25日(水)	障害者就業・生活支援センター講演会
12	2日(水)	ランチセッション&クリスマス会準備
	9日(水)	クリスマス会準備
	16日(水)	クリスマス会
H27	13日(水)	ランチセッション&レクリエーション
1	27日(水)	ランチセッション&レクリエーション
2	10日(水)	ランチセッション&レクリエーション

3	16日(水)	卒業生送る会
	17日(木)	動物ふれあい体験

○平成27年度 保健管理センター 年間活動報告

月	内容
4月	入学式(救護)、ガイダンス 新入生基礎疾患把握・呼び出し・フォロー 障害学生における支援内容確認・連携 定期健康診断・健康診断結果配布・健康診断結果事後措置 教職員健康診断開始
5月	UPI(University Personality Inventory)実施・学生相談室との連携 健康診断結果事後措置 禁煙週間イベント(主催:いわき市保健所)
6月	父母会総会(救護)、学内献血 オープンキャンパス(救護)
7月	保健管理センター運営委員会(第1回) オープンキャンパス(救護)、表現文化祭(救護)
8月	弓道大会(救護) オープンキャンパス(救護)
9月	父母会地区懇談会(救護) 労働基準監督署報告(定期健康診断・特殊健康診断)
10月	入試対応(救護) 学園祭(救護、食中毒防止) 性感染症検査(主催:いわき市保健所) 後期特殊健康診断(学生・教職員)
11月	入試対応(救護)
12月	救急法講習会(協力:いわき市消防団) 子宮頸がん検診(主催:いわき市保健所) 薬学部OSCE(救護)、入試対応(救護)
1月	大学入試センター試験(救護) 薬学部CBT(救護) 労働基準監督署報告(定期健康診断・特殊健康診断)
2月	入試対応(救護) 保健管理センター運営委員会(第2回)
3月	入試対応(救護)、オープンキャンパス(救護) 学位記授与式(救護)

## ■いわき明星大学 『学生歌』 歌詞募集

いわき明星大学が誕生し、平成29年で創立30年を迎えます。これまで校歌はありましたが、今般創立30周年を記念し、愛校精神を育むことや更なる学生・教職員の一体感の醸成を目的として、『学生歌』を作成する事にし、本学のイメージにふさわしい歌詞を学内で募集しました。選考の結果、現代社会学科2年女子の「星彩」が最優秀賞に選ばれ、現在曲の制作作業に入っています。

## ■学生データ

	平成27年度 2015			平成26年度 2014			平成25年度 2013			平成24年度 2012			平成23年度 2011			平成22年度 2010			平成21年度 2009			平成20年度 2008			平成19年度 2007			総合計					
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計			
生命環境学科																																	
科学技術学部計				48	7	55	44	6	50	34	7	41	13	1	14	2		2	1	1								141	22	163			
表現文化学科				18	17	35	15	26	41	16	19	35	8	1	9	2		2	2		2							61	63	124			
現代社会学科				22	4	26	28	7	35	31	8	39	7		7													88	19	107			
心理学科				25	33	58	28	26	54	30	24	54	8	5	13	3	1	4										94	89	183			
人文学部計				65	54	119	71	59	130	77	51	128	23	6	29	5	1	6	2		2							243	171	414			
薬学科	43	53	96	34	41	75	19	25	44	21	21	42	20	24	44	26	40	66	13	19	32	7	9	16	13	3	16	196	235	431			
薬学部計	43	53	96	34	41	75	19	25	44	21	21	42	20	24	44	26	40	66	13	19	32	7	9	16	13	3	16	196	235	431			
地域教養学科	53	36	89																									53	36	89			
教養学部計	53	36	89																									53	36	89			
総合計	96	89	185	147	102	249	134	90	224	132	79	211	56	31	87	33	41	74	15	20	35	7	9	16	13	3	16	633	464	1,097			

2015.5.1現在

	平成27年度 2015			平成26年度 2014			平成25年度 2013			平成24年度 2012			平成23年度 2011			平成22年度 2010			総合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
物質理学専攻				1	1	2													1	1	2
物理工学専攻				1		1													1		1
理工学研究科(修士)計				2	1	3													2	1	3
日本文学専攻																					
英米文学専攻										1	1	2							1	1	2
社会学専攻	1		1	1		1													2		2
臨床心理学専攻		3	3	3	2	5													3	5	8
人文学研究科(修士)計	1	3	4	4	2	6				1	1	2							5	6	11
修士課程計	1	3	4	6	3	9				1	1	2							7	7	14
物質理工学専攻																					
日本文学専攻	1		1																1		1
博士課程計	1		1																1		1
理工学研究科(修士)計				2	1	3													2	1	3
人文学研究科(修士・博士)計	2	3	5	4	2	6				1	1	2							6	6	12
総計	2	3	5	6	3	9				1	1	2							8	7	15

2015.5.1作成

## 3) 就職支援

### ■就職状況

就職内定率：97.9%【184名(就職内定者)／193名(就職希望者)】

内訳：○科学技術学部 100%【32名(就職内定者)／32名(就職希望者)】

○人文学部 96.3%【100名(就職内定者)／109名(就職希望者)】

・表現文化学科 93.5%【28名(就職内定者)／31名(就職希望者)】

・現代社会学科 94.4%【(就職内定者)／36名(就職希望者)】

・心理学科 100%【(就職内定者)／42名(就職希望者)】

○薬学部 100%【52名(就職内定者)／52名(就職希望者)】

## ■インターンシップ

### (1)実施学科人数

	学科名	参加人数	昨年比
1	科学技術学科	32	+8
2	表現文化学科	25	+16
3	現代社会学科	10	-5
4	心理学科	24	+4
	合計	91	+23

### (2)受け入れ企業

	インターンシップ企業名	参加人数		インターンシップ企業名	参加人数
1	常磐興産(株)スパリゾートハワイアンズ	27	17	新常磐交通(株)	2
2	(株)マルト(中岡店)	7	18	(株)タビックスジャパンいわき支店	1
3	日総ニティ(株)すいとぴーデイズセンター中央台	5	19	(有)日々の新聞社	1
4	八幡印刷(株)	4	20	(株)dream Lab(学童保育(英語))	1
5	アルパインマニュファクチャリング(株)	3	21	(株)常磐製作所	1
6	いわき市民コミュニティ放送	3	22	(株)東横イン郡山	1
7	社会福祉法人 五彩会	3	23	常磐開発(株)	1
8	トヨタカローラいわき(株) 湯本店	3	24	(有)リゾートホテル「ボチの家」	1
9	アイ・ケイ・ケイ(株) ララチャンスいわき	3	25	ホテルサンシャインいわき(株)	1
10	(株)いわき土地建物	3	26	ミツエイ(株)	1
11	常磐共同火力(株) 勿来発電所	3	27	(株)FSK	1
12	平商事(株)ヤマニ書房	3	28	(株)ハニーズ	1
13	(株)小野モータース(自由ヶ丘店)	2	29	茨城プレイティング工業(株)	1
14	いわき市役所(内郷公民館)	2	30	日立市役所(産業経済部商工振興課)	1
15	(株)江東微生物研究所	2	31	福島県(会津坂下農業普及所)	1
16	(株)相馬屋(管理部)	2	32	学内	1

※計 32 社 92 名 (内 1 名は 2 社のインターンシップへ参加のため、実人数では 91 名)

### (3)成果発表会

平成 27 年 10 月 3 日 (土) 13:00~16:10

参加学生数 : 87 名 (科技:30 名、表現:25 名、現社:10 名、心理:22 名)

参加企業等 : 3 社 (いわき商工会議所:3 名、常磐興産(株):6 名、(株)マルト:1 名)



インターンシップ



業界研究セミナー

■就職支援事業及び参加人数

平成 27 年度科技・人文向け就職支援行事（抜粋）

行事名	実施日	実施場所	参加学生数
エントリーシート・履歴書の書き方講座①	4月8日（火）	2-307	17名
エントリーシート・履歴書の書き方講座②	4月22日（火）	2-307	10名
リクナビLIVE（無料送迎バス）	4月18日（土）	ビックハレット ふくしま	14名
学内合同企業説明会	6月12日（金）	3-301 他	72名
就職フォロー講座	7月28日（土）	2-307	13名
学内合同企業説明会	9月25日（金）	1-403	40名
インターンシップ実施報告会	10月3日（土）	3-301 他	87名
業界研究セミナー	11月21日（土）	2-102	77名
服装と身だしなみ講座	11月23日（月）	3w-301	37名
上級生の就職活動体験を聞く	11月30日（月）	3-304	約90名
就職説明会	12月20日（日）	AV 大講義室	152名 (保護者含む)
就職個別面談	11月13日（金）～12月18日（金）	事務局	-
女子学生のためのメイクアップ講座	2月1日（月）	3W-301	30名
マイナビ就職EXPO （無料送迎バス）	3月1日（火）～3月2日（水）	宮城グランドイ 21	71名
ふくしま大卒等就職ガイダンス （無料送迎バス）	3月8日（火）	ビックハレット ふくしま	38名
学内合同企業説明会	3月16日（水）	3-301 他	75名

平成 27 年度薬学部向け就職支援行事（抜粋）

行事名	実施日	実施場所	参加学生数
マナーと身だしなみ講座①	4月28日（火）	16-205	7名
マナーと身だしなみ講座②	4月29日（水）	16-205	24名
就職個別面談	11月13日（金）～12月18日（金）	1-113	-
エントリーシート・履歴書の書き方講座①	1月14日（木）	16-204	41名
エントリーシート・履歴書の書き方講座②	1月14日（木）	16-204	24名
面接対策講座①	1月18日（月）	16-204	32名

面接対策講座②	1月18日(月)	16-204	14名
業界研究講座	1月28日(木)	16-204	13名
就活講座	2月19日(金)	16-204	22名
学内合同企業説明会	3月12日(土)	3-301 他	37名

※その他、科学技術学部・人文学部・薬学部対象 単独企業説明会を年間通じて実施。

#### 4. 主な就職先 (就職データ)

科学技術学部	東京電力(株)／大和証券(株)／福島県教員／いわき民報社(株)／(株)東日本計算センター／(株)FSK／(株)ダイユーエイト／(株)倉島商店／(株)郡山塗装／向陽電気工業(株)など
人文学部	法務省／損害保険ジャパン日本興亜(株)／東邦銀行／大東銀行／秋田銀行／いわき信用組合／あぶくま信用金庫／(株)江東微生物研究所／永大小名浜(株)／(株)マルト／(株)くすりのマルト／渡辺パイプ(株)／下郷町役場／檜葉町役場／(株)ダイユーエイト／いわき市農業協同組合など
薬学部	いわき市立総合磐城共立病院／独立行政法人国立病院機構関東信越グループ／山形大学医学部付属病院／山形県職員(山形県立中央病院)／社団医療法人養生会かしま病院／公益財団法人ときわ会常磐病院／総合病院水戸協同病院／日本調剤(株)／クオール(株)／(株)ツルハ／(株)スギ薬局／サンドラッググループ／医療法人横浜平成会など



## 6. キャンパス・アメニティ

### ■教育研究機関報告

#### ○図書館

(1) 建物・職員数・蔵書状況及図書費

建物延面積 ㎡	職員数				蔵書冊数					平成27年度増加冊数			平成27年度 図書購入費 千円
	専任 人	兼任 人	非常勤・臨時 人	派遣職員等 人	和書 冊	洋書 冊	計 冊	内開架図書 冊	内指定図書 冊	和書 冊	洋書 冊	計 冊	
4,943	1	1	0	14	215,899	58,845	274,744	79,442	—	4,936	824	5,760	21,111

(2) 利用状況及び文献複写件数

図書館利用状況										(平成27年度分) 文献複写		
学 生					教 職 員					学内分 件	学外分 件	計 件
対象学生数 人	館内閲覧 人員 冊数		館外貸出 人員 冊数		対象職員数 人	館内閲覧 人員 冊数		館外貸出 人員 冊数				
	1,011	—	—	3,488		6,533	320	—	—	782	1,718	721

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞購入費 千円	製本費	
和 種	洋 種	計 種	受付数			内購入分				冊数	金額 千円
			和 種	洋 種	計 種	和 種	洋 種	計 種			
896	492	1388	117	79	196	113	79	192	6,001	0	0

#### ○心理相談センター

##### 1. センター員の構成

センター相談員は、臨床心理士有資格者である人文学研究科臨床心理学専攻の教員 5 名と専任カウンセラー 2 名の計 7 名です。センター研修員は、人文学研究科臨床心理学専攻の大学院生 7 名です。また、大学院を修了した大学院生のうち、当センターでの卒業研修に任意登録した 8 名が特別研修員です。以上に、事務職員 1 名を加えた総計 23 名が、本年度センター員として活動しています。

##### 2. 臨床心理に関する調査・研究

###### 2-1 心理相談センター紀要第 10 号の発行

平成 26 年度の心理相談センターの活動報告を「いわき明星大学心理相談センター紀要第 10 号」にまとめ、学内外の関連部署・機関へ発送した。紀要第 10 号には、原著論文、震災支援報告として研究視察報告やリラックス学習会、富士通「[平成 26 年度]いわき市一時提供住宅入居者等見守り支援」事業報告、「ばんえつセミナー2014」開催報告を掲載しました。

###### 2-2 研究視察

本年度は、(株)富士通システムズイーストより委託された「平成 27 年度いわき市一時提供住宅入居者等見守り支援」事業をさらに充実させるために、阪神淡路大震災を契機として、被災者や被害者のトラウマやその結果として生ずる PTSD などの「こころのケア」に取り組んできた兵庫県こころのケアセンターへ 8 月に視察を行いました。センター内の見学や時間の変遷とともに支援の有り方がどのように変化したかについて講義を受けました。

### 3. 心理相談

昨年度に引き続き、「新規来談者の獲得と安定した心理相談の実施」を目標に掲げ、相談活動を行いました。新規来談者数、総心理面接件数ともに増加しており、目標はおおよそ達成されました。

#### 3-1 総心理面接の月間推移

本年度行われた総心理面接件数の月間推移(面接種別)を図1に示しました。年間1331件、月平均111件と、震災以降最も件数が増加しました。

#### ○産学連携センター

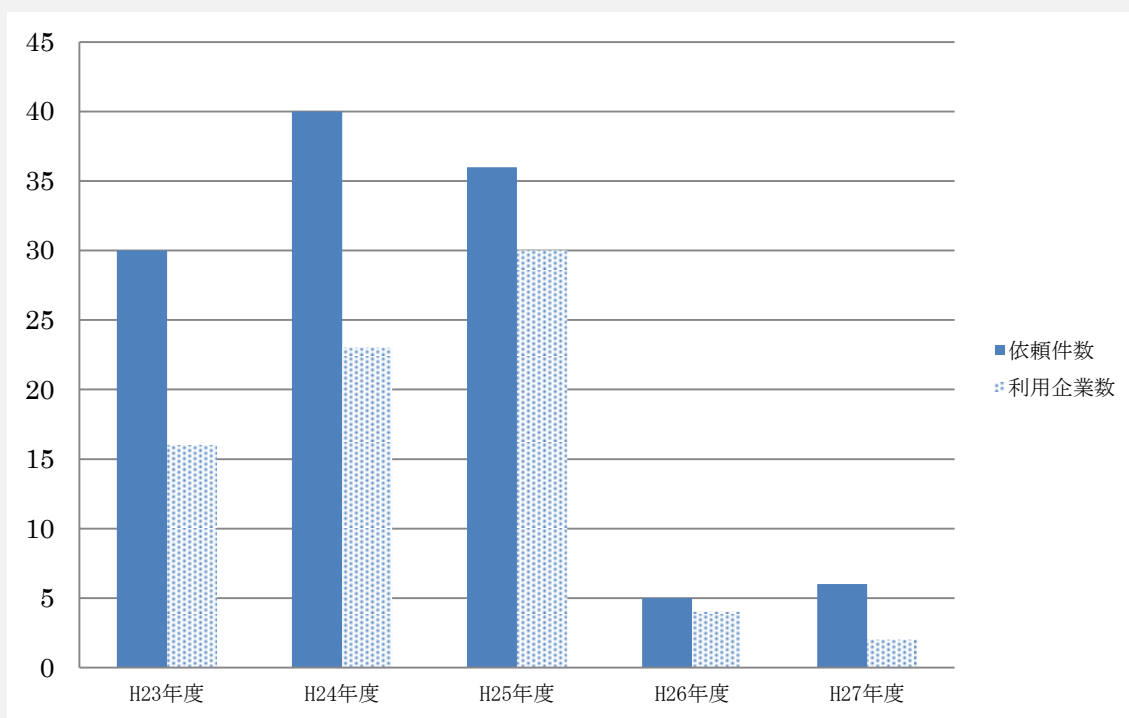
##### 1. 技術相談、分析依頼

依頼件数 6回

利用企業数 2機関 (2015.4月～2016.3月)

外部機関から装置使用および依頼分析等の申し込みがあった場合、依頼内容を確認して最も適した研究分野の教員へ打診し、担当教員との日程調整を行います。実際の対応については、依頼者と担当教員で直接行い、センターでは対応内容の記録や今後の対応へのフォローを行っています。依頼件数と利用企業数の年次推移を図3.1に示します。

今年度は、相談・分析依頼企業数が減少しました。企業のニーズと大学の研究内容のマッチングが取れた場合、受託研究、共同研究等へ展開するケースもあり、信頼関係の結ばれた企業とは1年だけでなく継続的な連携活動を行っている例が見られます。



依頼件数および利用企業数の年次推移

## 2. 技術相談・分析依頼対応例

### [例 1] 無機系フィラー混合した SMC 材の分析依頼

SMC(Sheet Molding Compound)材 5 種類の試料について SEM 観察と EDS 分析を行いました。SEM 観察により混合された無機系フィラーが針状であることが確認でき、EDS 分析により Si、O が検出されました。また、その他のマトリックスから Al、Si、O、Mg が検出されました。分析結果を持ち帰り、社内で検討することとなりました。

### [例 2] 無機系フィラー混合した SMC 材の分析依頼

成型条件の異なる SMC(Sheet Molding Compound)材 10 種類の試料について SEM 観察と EDS 分析を行いました。今回は、成型した SMC 材の断面を SEM 観察し、無機系フィラーの形状、配向性等の観察を行いました。

### [例 3] 金ナノ微粒子にシリカ膜を施した試料の TEM 観察

金ナノ微粒子シリカ膜について、条件を変えて作製した 12 種類の膜の厚さを TEM 観察液ないかとの依頼がありました。金ナノ微粒子の粒径が 50nm 程度ということなので、本学の TECNAI-30 を用いて観察することとしました。今回は試料観察の有無についての確認を行い、十分観察できることが分かったため、12 試料を預かり順次観察していくこととしました。結果についてはメールにて報告することとしました。

## 3. 外部予算（受託研究・共同研究・その他）

17 件（2015.4 月～2016.3 月）

平成 21 年 11 月の「学校法人明星学苑受託研究取扱い規程」及び「学校法人明星学苑共同研究取扱い規程」の制定により、受託研究及び共同研究を実施する場合、申込み先の所管長として産学連携研究センター長が対応することになりました。

産学連携研究センターでは、これまでも必要に応じて、特定寄付金、受託研究、共同研究の申込みを希望する外部機関や教員へ申込み方法や内容の説明、執行開始後のサポート等を行ってきました。

平成 23 年度からは受託研究及び共同研究を行う際には、事前に企業と大学間で契約書を交わすことが必須となり、契約締結に係る手続きは、附属教育研究機関統括事務センターにて担当していただいています。

特定寄付金・受託研究・共同研究に至る経緯としては、教員の研究内容に興味を持った企業からのアプローチによる場合や、教員が有する研究シーズを製品化に向けて展開できる企業に対して教員からアプローチする場合があります。

また、企業からの技術相談を受けて相談内容に適した学内教員が対応した際に、企業ニーズと教員の研究シーズがマッチし、お互いに協働で研究を行うことでより成果の拡充が見られる場合、特定寄付金・受託研究・共同研究に発展する場合があります。

特定寄付金は本学がサポート的研究を行う場合、受託研究は研究の一部を委託されて行う場合、共同研究は本学と企業が分担して研究を進めていく場合とマッチングの実態に合わせて研

究活動が行われています。

中にはこれらの活動から外部機関による公募事業等への応募・採択に発展し、大きな成果をあげている例があります。

今年度の実績は、受託研究：11件、共同研究：5件、その他1件です。

#### H27年度 受託研究実績一覧

分類	研究課題	関連機関
受託研究	HF0-1234ze (Z) の基本物性およびサイクル性能に関する研究 低 GWP 混合冷媒の探求とその基本物性およびサイクル性能に関する研究	国立大学法人 九州大学
受託研究	熱電変換半導体を用いたセンサー性能検証・商品化検証	(株) ヒューセック
受託研究	平成 27 年度 教職員メンタルヘルスカウンセリング事業	福島県教育委員会
受託研究	こころのケア事業	警察共済組合福島県支部
受託研究	PvTx 性質の計測及び臨界点近傍における飽和温度・飽和密度の計測	旭硝子(株)化学品カンパニー
受託研究	「心理相談」事業委託(いわき市職員に対する心理相談)	いわき市
受託研究	こころのケア連携事業業務	いわき市教育委員会
受託研究	いわき地域における UHF 帯デジタル通信の有効性および災害発生時の運用に関する研究	(株)フタバパーツ
受託研究	平成 27 年度 「ふくしまから はじめよう。再生可能エネルギー教育実践事業」	福島県教育委員会
受託研究	Beacon を用いた携帯端末向け地域情報配信アプリケーションの開発と運用に関する研究	(株)東日本計算センター
受託研究	平成 27 年度いわき市一時提供住宅入居者等見守り支援	(株)富士通システムズイースト代理人富士通(株)

H27 年度 共同研究実績一覧

分類	研究課題	関連機関
共同研究	新規抗 HIV 感染予防薬の開発に向けた宇宙環境を利用した高品質タンパク質結晶生成（第 2 回実験）と精密立体構造の解析	独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
共同研究	機器の防振装置性能予測システムの開発	(株) モーションラボ
共同研究	熱発電システムの開発	(有) テクノサンショウ
共同研究	新規ナノ材料分散剤の開発研究	(株) 分散材料研究所
共同研究	新規炭化水素混合冷媒の熱物性値の精密測定に関する研究	丸八空調工業(株) (株) ジャペックスエネルギー

H27 年度 その他の実績一覧

プロジェクト名	事業主催機関	関連教員	備考
<イノベーションシステム整備事業>地域イノベーション戦略支援プログラム（東日本大震災復興支援型）（研究機能・産業集積高度化地域）「再生可能エネルギー先駆けの地ふくしまイノベーション戦略推進地域」	文部科学省	東 之弘 教授 鈴木 裕宣 助教	

4. 知的財産

CRC 関連 総知的財産取扱件数 23 件（2000.4 月～2016.3 月）

昨今では、知的財産の取得実績が、論文発表と同等に扱われて始めている。発明の扱い、及び知的財産権の重要性が増してきているのが現状です。

また、大学の施設を利用し、大学に関連する予算を用いて行った発明を権利化する場合、一般的に職務発明として扱う事例が増えてきています。明星学苑としても、知的財産を大学帰属として扱うべきかどうかを判断し、帰属すべきとなった場合、大学が権利を保有して、特許費用等も大学が負担する制度を、平成 21 年 11 月に「学校法人明星学苑職務発明規程」として制定しました。それに基づいて、教職員等は発明等を行ったときは、発明届出書、発明承諾書を、所管長である産学連携研究センター長経由で法人本部へ提出することになりました。受け付けられた発明届出書案件は、法人本部における発明審査委員会において審議され、職務発明の判定、法人による継承の判定等が行われます。

大学として知的財産に関する情報を把握することは重要であります。現在、当センターにおいて把握している本学関連の知的財産出願・保有状況、および発明届出書案件について以下に示します。

知的財産取扱一覧

No.	種別	出願番号	出願公開番号 /特許番号	発明の名称	発明者	出願人
1	特許	特願 2000-8602267	特許 第 3962772 号	抗ヒト免疫不全ウイルス活性を有するポリペプチド、ポリペプチドをコード化する遺伝子、ポリペプチドの製造方法	田中晴雄教授 他学外 1 名	(有) キイム・ファーマ・ラボ
2	特許	特願 2000-244172	特許 第 4017326 号	酸化低密度リポタンパク質認識用ペプチド	蝦名敬一教授 他学外 1 名	(独) 科学技術振興機構
3	特許	特願 2006-21797	特許 第 5124950 号	光学活性セリン誘導体の製造法	梅村一之教授 他学外 3 名	コニカミノルタケミカル株式会社
4	特許	特願 2006-155578	特許 第 4855837 号	FeSi <sub>2</sub> 系熱電変換材料及びその製造方法	東之弘教授 安野拓也教授 他学外 2 名	SPS シンテックス株式会社
5	特許	特願 2006-183281	特許 第 5041744 号	ロータリーキルンによる合金スラッジの連続乾燥処理方法	安野拓也教授 他学外 3 名	株式会社 林商会
6	特許	特願 2007-090890	特許 第 5108354 号	高純度シリコンの製造方法	安野拓也教授 他学外 3 名	株式会社 林商会
7	特許	特願 2008-068764	特許 第 5135011 号	熱電変換温度センサおよびその製造方法	東之弘教授 安野拓也教授 田中勝之助教 他学外 2 名	沖電気防災株式会社
8	特許	特願 2008-71131	特許 第 5100466 号	飲酒運転検出方法および飲酒運転検出装置	櫻井俊明教授 他 1 名	アルパイン株式会社
9	特許	特願 2008-270038	特許 第 5158546 号	加水燃料及び添加剤調整燃料油及び添加剤とそれらの製造方法	梅村一之教授 他 2 名	梅村一之 望月秀樹
10	特許	特願 2009-102648	特許 第 5427462 号	熱電変換モジュールおよびその製造方法	東之弘教授 安野拓也教授 田中勝之助教 他学外 3 名	沖電気防災株式会社
11	特許	特願 2010-71293	特許 第 5750708 号	加水燃料及び添加剤調整燃料油及び添加剤とそれらの製造方法	梅村一之教授 他 2 名	梅村一之 望月秀樹
12	台湾 特許	98121406		熱電変換モジュールおよびその製造方法	東之弘教授 安野拓也教授 田中勝之助教 他学外 3 名	沖電気防災株式会社
13	中国 特許	200910159470.1		熱電変換モジュールおよびその製造方法	東之弘教授 安野拓也教授 田中勝之助教 他学外 3 名	沖電気防災株式会社
14	PCT	PCT/JP99 /05199	WO 00/52043	抗ヒト免疫不全ウイルス活性を有するポリペプチ	田中晴雄教授 他学外 1 名	学校法人 北里学園

				ド、ポリペプチドをコード化する遺伝子、ポリペプチドの製造方法		田中晴雄 大村智
15	PCT	PCT/JP2005 /021981	WO 2006/059638	改変アクチノヒビン、その2量体およびこれを含む抗 HIV 薬	田中晴雄教授 他学外 1 名	学校法人 北里学園 田中晴雄 大村智
16	特許	特願 2012-035540	特開 2012-193166	抗 PAF 活性を有するバイオチニル化ペプチド化合物	佐藤陽助手 蝦名敬一教授	学校法人 明星学苑
17	特許	特願 2012-132069	特開 2013-28587	抗炎症剤	佐藤陽助手 蝦名敬一教授	学校法人 明星学苑
18	特許	特願 2013-253131	特開 2014-131995	抗 HCV 薬	田中晴雄教授 他学外 4 名	学校法人 明星学苑
19	特許	特願 2013-157759	特開 2015-027961	蛍光標識ペプチド化合物	佐藤陽助手 蝦名敬一教授	学校法人 明星学苑
20	特許	特願 2013-182043	特開 2015-050372	熱電変換モジュールの製造方法	鈴木裕宣助教 石垣雅助教 東之弘教授 庄司宏明研究 補助員 他学外 2 名	学校法人 明星学苑
21	特許	特願 2015-187395		熱電発電ユニットの接合方法	鈴木裕宣助教	学校法人 明星学苑
22	特許	特願 2015-187396		FeSi2 系積層型熱電変換モジュール	鈴木裕宣助教	学校法人 明星学苑
23	特許	特願 2016-40470		熱電発電ユニットの冷却方法	鈴木裕宣助教	学校法人 明星学苑

## 5. 講演会活動

6 回 (2015. 4 月～2016. 3 月)

産学連携研究センターでは、本学の研究内容を広く知ってもらい産学連携活動に発展させることを目的とし、各方面で講演会活動を行っています。

### H27 年度 講演会活動実績一覧

NO.	講演会名	開催日	場所
1	磐城高等学校進路指導講演会	2015/7/8	本学 AV 大講義室
2	文科省事業放射線セミナー	2015/8/26	いわき市立好間第二小学校
3	岩瀬地域金属加工技術講習会「粉末冶金技術」	2015/9/28	鏡石町商工会
4	岩瀬地域金属加工技術講習会「3次元設計技術」	2015/10/14	鏡石町商工会
5	福井県敦賀地区若手経営者対象講演会	2015/12/10	福井県敦賀市
6	福井県三方郡美浜町エネルギー講演会	2016/2/22	福井県三方郡美浜町

## 6. 関連会議参加実績

57回（2015.4月～2016.3月）

産学連携研究センター関連教員は、東北経済産業局、福島県、いわき市等の関連会議に出席しており、多くの情報交換の場を有しています。

中には役員としてその会の中心となり積極的な活動を行っている場合もあります。これら関連会議や研究会等への参加は、本学の活動の普及だけでなく、産学官の地域連携を深め、広い分野からの知見を得るよい機会となっています。

### 主な参加会議名

#### （1）国および東北地区

- ・ Fukushima地域再生可能エネルギーイノベーション推進協議会
- ・ 日本エネルギー環境教育学会理事会
- ・ 経済産業省エネルギー政策広聴広報あり方検討会

#### （2）福島県

- ・ 再生可能エネルギー関連産業集積推進協議会
- ・ 福島議定書審査委員会
- ・ 福島県中小企業振興審議会
- ・ (公財) 福島県産業振興センター評議員会
- ・ 福島県再生可能エネルギー導入推進連絡会
- ・ 福島県産学官コーディネータ連絡会議
- ・ 超学際的研究機構理事会

#### （3）いわき市

- ・ (公社) いわき産学官ネットワーク協会理事会および総会
- ・ いわき市復旧・復興検討市民委員会
- ・ 中小企業支援ネットワーク会議
- ・ いわき中小企業復興支援会議
- ・ いわき市環境・エネルギー関連産業ネットワーク会議

### H27年度 関連会議参加実績一覧

NO.	会議名	開催日	場所
1	地域イノベーション事業第1回企画運営委員会	2015/4/14	南東北総合卸センター組合会館
2	原子力規制庁特定原子力施設検討会	2015/4/15	原子力規制庁
3	地域イノベーション事業推進協議会	2015/4/23	杉妻会館(福島市)
4	第17回発明審査委員会	2015/4/24	明星大学
5	福島浜通りグローバル人材育成事業推進協議会	2015/4/28	生涯学習プラザ
6	アカデミアコンソーシアムふくしま(ACF)テレビ会議	2015/4/30	いわき明星大学



7	地域イノベーション事業 H26 年度研究成果発表会	2015/5/12	杉妻会館(福島市)
8	アカデミアコンソーシアムふくしま(ACF)理事会	2015/5/13	福島大学
9	地球にやさしい県民会議	2015/5/15	ホテル福島グリーンパレス
10	福島沖浮体式洋上風力発電実証研究事業に関する漁業協働委員会	2015/5/18	コラッセふくしま
11	いわきイノベーションコースト会議	2015/5/20	ホテルサンルートプラザ福島
12	超学際的研究機構理事会・総会・報告会	2015/5/21	福島
13	原子力規制委員会検討会	2015/5/22	原子力規制庁
14	福島県再生可能エネルギー関連産業集積推進協議会	2015/6/1	福島
15	いわき創生戦略会議	2015/6/5	ラトブ
16	知財総合支援に係る関係機関連携会議	2015/6/5	郡山ビューホテル
17	福島県総合計画審議会	2015/6/9	福島
18	福島県産学官コーディネータ連絡会	2015/6/9	福島県ハイテクプラザ
19	エネルギー教育評価委員会	2015/6/15	東京
20	双葉町復興関連会議	2015/6/16	本学産学連携研究センター
21	地域イノベーション事業第1回研究推進委員会	2015/6/18	南東北総合卸センター組合会館
22	再生可能エネルギー産業推進研究企画委員会	2015/7/6	福島再生可能エネルギー研究所
23	いわき創生戦略会議	2015/7/10	いわき市
24	日本エネルギー環境教育学会理事会	2015/7/11	東京
25	アカデミアコンソーシアムふくしま(ACF)事業推進会議	2015/7/15	郡山女子大学
26	JST 技術審査会	2015/7/29	郡山市
27	JST 技術審査会	2015/8/5	郡山市
28	日本エネルギー環境教育学会	2015/8/8~9	京都
29	いわき創生戦略会議	2015/8/10	いわき市
30	SSH 運営指導委員会	2015/8/26	磐城高校
31	いわき創生戦略会議全体会議	2015/8/28	いわき市
32	地域イノベーション事業第2回研究推進委員会	2015/9/17	南東北総合卸センター組合会館
33	いわき市中小企業振興懇談会	2015/10/1	いわき市
34	いわき創生戦略会議部長会会議	2015/10/22	いわき市
35	いわき創生戦略会議	2015/10/23	いわき市
36	第19回発明審査委員会	2015/10/26	明星大学
37	超学際的研究機構理事会	2015/11/26	福島
38	いわき産学官ネットワーク協会理事会	2015/11/27	いわき産学官ネットワーク協会
39	洋上風力漁業協働委員会	2015/12/1	福島
40	地域イノベーション事業第3回研究推進委員会	2015/12/9	南東北総合卸センター組合会館
41	地域イノベーション事業第4回研究推進委員会	2016/1/13	南東北総合卸センター組合会館
42	福島議定書審査会	2016/1/19	福島

43	地域イノベーション事業意見交換会	2016/1/26	福島県ハイテクプラザ
44	再生可能エネルギー導入推進連絡会	2016/2/1	杉妻会館
45	知財総合支援に係る関係機関連携会議	2016/2/3	郡山ビューホテル・アネックス
46	地域イノベーション事業第3回企画運営委員会	2016/2/10	市民交流プラザ
47	超学際的研究機構理事会	2016/2/19	杉妻会館
48	地球にやさしい福島県民会議いわき地方会議	2016/2/24	いわき市
49	第20回発明審査委員会	2016/3/4	明星大学
50	日本科学技術館事業評価委員会	2016/3/14	東京
51	超学際的研究機構理事会	2016/3/18	福島
52	地球温暖化対策委員会	2016/3/18	福島県庁
53	日本エネルギー環境教育学会	2016/3/20	東京
54	浮体式洋上風力発電漁業協働委員会	2016/3/22	福島
55	福島県産業振興センター評議員会	2016/3/23	福島
56	いわき市工業振興ビジョン推進研究会	2016/3/28	いわき市
57	JSRAE アジア学術賞審査委員会	2016/3/30	東京

## 7. 産学連携研究センター来訪者

68名（2015.4月～2016.3月）

産学連携研究センターには、市および県の公設機関や企業等から多数の来訪者がある。その主な内容は、

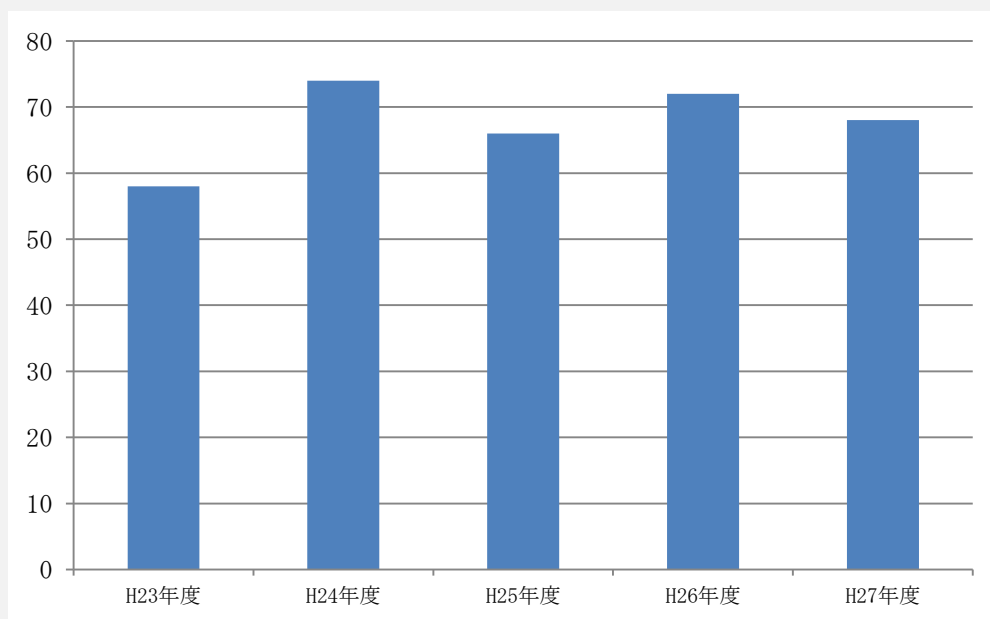
- ・本学で行っている研究内容とのマッチングのための相談
- ・産学連携による事業の紹介および活動相談等

これらの来訪者数を図4.1に示します。

「本学で行っている研究内容とのマッチングのための相談」については、主に企業によるものであり、企業が行っている開発に対するアドバイスを求めに来学し、可能な場合は共同研究等へ展開できるかどうかの検討を行っています。

「産学連携による事業の紹介および活動相談」については、産学連携に関するネットワーク構築や、本学が有する研究シーズを活かして公設機関や企業と連携して外部予算を獲得するための各種事業公募を目指した話し合いが行われています。

また、産学官における会議や行事等についての出席または、アドバイスの依頼がありました。



来訪者数

## 8. 産学連携関連行事

50回（2015.4月～2016.3月）

産学連携研究センターでは、来訪を受けて相談の結果、本学の研究内容や設備・装置をより知ってもらい、今後の連携活動に役立てるべく必要に応じて行事を開催しています。企業を対象としては、本学所有の装置見学、本学側および企業側の研究内容に関する情報・意見交換会などを行っています。

また、大学のシーズを学外へ発表し、企業等とのマッチングを行うことを目的とした外部団体主催の産学連携イベント等への出展も行っています。

### 主な行事

#### ▽「REIF ふくしま 2015」

関連教職員：東 之弘教授、鈴木研究員、菅波

日時 平成27年10月28日（水）～29日（木） 10:00～17:00

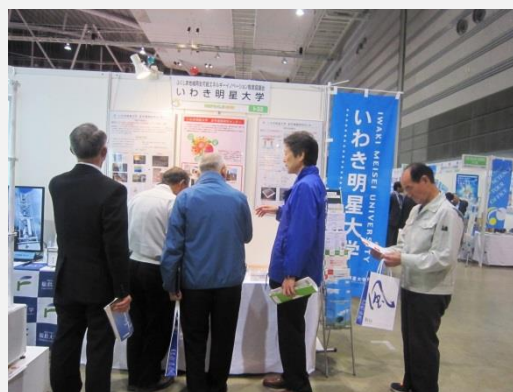
場所 ビッグパレットふくしま

このフェアは、再生可能エネルギー関連産業でビジネスに取り組まれる企業・団体を対象に、技術・情報の発信及び商談・交流の場を提供することを目的として開催するもので、本学は、発電ユニット・ $\text{FeSi}_2$ モジュールなどの発電機材を展示しました。

出展した2日間、ブースに訪れた企業や一般の方々に対して、本大学が取組んでいる発電ユニットや $\text{FeSi}_2$ モジュールの説明や質問に対応しました。



本学の展示ブース



会場の様子

## H27 年度 行事等一覧

NO.	行事名	開催日	場所
1	ふたば未来学園入学式	2015/4/8	ふたば未来学園
2	被災地視察	2015/4/26	産総研福島再生可能エネルギー 研究所
3	地域イノベーション事業 H26 研究成果発表会	2015/5/12	杉妻会館
4	超学際的研究機構理事会・総会・報告会	2015/5/21	福島
5	地域イノベーション事業実証実験結果報告会	2015/5/28	川口内燃機鑄造(株)
6	開所一周年記念福島再生可能エネルギー研究所成果報告講演 会	2015/6/5	ホテルハマツ
7	大熊町太陽光発電施設施工式	2015/7/21	大熊町
8	双葉町再生可能エネルギー勉強会	2015/7/31	双葉町いわき事務所
9	地域イノベ事業瀬波温泉温度差発電実験	2015/8/6~7	新潟大観荘せなみの湯
10	日本エネルギー環境教育学会	2015/8/8~9	京都
11	旭硝子受託研究中間報告会	2015/8/11	東京
12	JST イノベーション・ジャパン 2015 大学見本市	201/8/27~28	東京ビッグサイト
13	小名浜一小放射線環境エネルギー実験出前講座	2015/8/28	小名浜一小
14	丸八空調工業受託研究成果報告会	2015/9/3	東京
15	立地自治体放射線エネルギーフォーラム	2015/9/17~18	東京大学
16	地域イノベーション事業熱電変換分科会	2015/10/9	いわき明星大学
17	平四小放射線教室	2015/10/13	平四小
18	双葉町再生可能エネルギー勉強会	2015/10/13	双葉町いわき事務所
19	平三中教員放射線研修会	2015/10/20	平三中
20	小玉小教員放射線研修会	2015/10/23	小玉小
21	REIF2015 ふくしま	2015/10/28~29	ビッグパレットふくしま
22	双葉町再生可能エネルギー勉強会	2015/11/2	双葉町いわき事務所
23	地域イノベーション事業熱電変換分科会	2015/11/6	福島県産業振興センター
24	小川小教員放射線セミナー	2015/11/9	小川小

25	菊田小放射線教室	2015/11/10	菊田小
26	紛体粉末冶金協会 H27 年度秋季大会	2015/11/11~12	京都大学
27	科研費中間報告会	2015/11/13	九州産業大学
28	日本機械学会 M&P2015	2015/11/13	広島大学
29	勿来一小教員放射線研修会	2015/12/1	勿来一小
30	檜葉放射線教室	2015/12/2	檜葉
31	地域イノベーション事業熱電変換分科会	2015/12/3	(有)テクノサンショウ
32	三和中教員放射線研修会	2015/12/21	三和中
33	東京電力福島第1、第2原子力発電所視察	2015/12/25	東京電力F1、F2
34	勿来二小教員放射線セミナー	2016/1/12	勿来二小
35	郷ヶ丘小放射線セミナー	2016/1/19	郷ヶ丘小
36	ふたば未来学園出前授業	2016/1/20	ふたば未来学園
37	御厩小放射線セミナー	2016/1/25	御厩小
38	小野町立飯豊小教職員放射線セミナー	2016/1/26	飯豊小
39	草野小放射線セミナー	2016/1/28	草野小
40	好間三小放射線セミナー	2016/1/29	好間三小
41	四倉小放射線セミナー	2016/2/4	四倉小
42	平二小放射線セミナー	2016/2/9	平二小
43	赤井小放射線研修会	2016/2/16	赤井小
44	湯本二小教員放射線セミナー	2016/2/18	湯本二小
45	高久小放射線セミナー	2016/2/19	高久小
46	平二中放射線セミナー	2016/2/22	平二中
47	汐見が丘小放射線セミナー	2016/2/25	汐見が丘小
48	平六小放射線研修会	2016/2/29	平六小
49	泉小地球温暖化授業	2016/3/1	泉小
50	桑折町立醸芳小再生可能エネルギー教室	2016/3/9	醸芳小

## 9. 地域イノベーション戦略支援プログラム

### 事業概要

いわき明星大学産学連携研究センターは、昨年度に引き続き、平成27年度東日本大震災復興地域産学官連携科学技術振興事業費補助金 地域イノベーション戦略支援プログラム（研究機能・産業集積高度化地域）「再生可能エネルギー先駆けの地ふくしまイノベーション戦略推進地域」において、文部科学大臣に対し交付申請し採択されました。

### 事業の名称

<イノベーションシステム整備事業>

地域イノベーション戦略支援プログラム（東日本大震災復興支援型）

（研究機能・産業集積高度化地域）

「再生可能エネルギー先駆けの地ふくしまイノベーション戦略推進地域」

事業期間

着手日 平成 27 年 4 月 1 日

完了日 平成 28 年 3 月 31 日

実施体制

事業実施担当者 東 之弘（産学連携研究センター長・科学技術学部 教授）

招聘研究者 鈴木 裕宣（産学連携研究センター 常勤研究員（助教））

研究補助者 菅波 睦子（産学連携研究センター 契約職員）

10. 研究テーマ

産学連携研究センターは、平成 15 年にいわき市で策定した「いわきオンサイトエネルギー創製プラン」に参画し、産学官民連携による再生可能エネルギー利用システムの構築に向けた研究開発に取り組みました。

この中で鉄シリサイド系の熱電変換材料としては安価な原料を用いて熱電変換モジュールを開発し、従来報告されていた値を大きく上回る研究結果を得られることができました。

地域の分散型エネルギーである温泉廃熱や焼却炉廃熱を利用した温度差発電などの研究開発を行い、地域の再生可能エネルギー利用システム構築の研究を推進します。

いわき明星大学の研究テーマは、

「廃熱発電システム高度化に向けた熱電変換ユニットの研究開発」

研究概要

いわき明星大学 産学連携研究センター

**研究内容紹介**

**研究テーマ** 熱電変換モジュールによる廃熱発電ユニットの研究・開発

**研究背景・概要**

【熱電変換材料で熱を電気に変換】

【いわき明星大学での取り組み】

- 材料：FeSi
  - ① FeSiの特長
    - ・資源が豊富で安価
    - ・有害物質を含まない
    - ・耐食性が高い
    - ・耐酸化性が良好
    - ・耐熱性が良い(400~800K)
- 製法：放電プラズマ機結法(SPS)
  - ・SPSの特長
    - ・短時間で機結可能
    - ・微細組織が得られる
    - ・FeSiのδ相化が容易

SPS装置 FeSi<sub>2</sub>モジュール

SPSプロセスの基本構成

【研究・開発状況】

FeSi<sub>2</sub>発電モジュールの開発

50対FeSi<sub>2</sub>モジュール  
発電量：12W  
加熱温度：600℃  
冷却温度：30℃

5対積層型FeSi<sub>2</sub>モジュール  
発電量：32.4mW  
加熱温度：500℃  
冷却温度：20℃

FeSi<sub>2</sub>センサーの開発  
(発電モジュールの技術の応用)

FeSi<sub>2</sub>センサーのメリット

- ・構造が簡単
- ・部品点数が少ない
- ・省コスト化が期待できる

いわき明星大学 産学連携研究センター

**研究内容紹介**

**研究テーマ** 地熱・地中熱を利用した熱電変換システムの研究・開発及び性能評価

熱電発電とは、ゼーベック効果により温度差を利用して発電する方法であり、排ガス等のないクリーンな発電方法です。工場や温泉、焼却炉などから捨てられている未利用熱エネルギーは、電気エネルギーとして回収することが可能であり、定期的に排出される廃熱を利用すれば、太陽光発電よりも安価な再生可能エネルギーとなる可能性があり、省エネルギー効果の向上も期待できます。

**研究背景・概要**

- ・我が国のエネルギー政策は大きな転換が求められている。
- ・熱エネルギーの約70%は未利用で廃出 → 廃熱から電力を創出し省エネルギーを図る
- ・変換効率の低さなどから開発は進んでなく 【実証実験】

実用化はごく一部に限定されている。 → ①効率向上の研究 ②熱電発電の普及活動

**研究・開発状況**

【温泉熱を利用した発電実験】

温泉利用  
温泉利用  
温泉利用

【工場廃熱を利用した発電実験】

工場廃熱  
工場廃熱  
工場廃熱

【発電成果】

発電ユニット  
発電ユニット  
発電ユニット

【報道】

【電力の流れのイメージ図】

ユニット → 充電コントローラー → AC100V → 蓄電池

電化製品（例 LED 照明等）  
ユニットで発生した電力が家庭電圧（100V）を利用して発電できる  
その電圧と電力を必要に応じて調整することが可能です。



## ■大学施設設備概要

〒970-8551

福島県いわき市中央台飯野五丁目5番地1

TEL : 0246-29-5111 FAX : 0246-29-5105

○敷地面積 456,353.86 m<sup>2</sup>

○建物延べ床面積 56,653.49 m<sup>2</sup>

○主要建物 本館、2号館、3号館、6号館、薬学部棟、図書館・学習センター、体育館、  
児玉記念講堂、厚生館、学友会部室、大学会館



北西方向から見た全景

## 7. 平成27年度事業報告

▼[平成27年度 事業報告書](#) (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## 8. 平成27・28年度事業計画

▼[平成27年度 事業計画書](#) (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

▼[平成28年度 事業計画書](#) (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## 9. 組織図（法人・大学）・役職員

### ■組織図





■役職者名簿

平成27年度 いわき明星大学 役職者

学 長	山 崎 洋 次
副 学 長	大 内 和 子
学 長 補 佐	東 之 弘
科 学 技 術 学 部 長	中 田 芳 幸
人 文 学 部 長	林 洋 一
薬 学 部 長	川 口 基 一 郎
教 養 学 部 長	林 洋 一
学 生 部 長	五 十 嵐 幸 一
図 書 館 長	東 之 弘
産学連携研究センター長	東 之 弘
心理相談センター長	山 本 佳 子
心理相談センター副センター長	窪 田 文 子
学修総合支援センター長	大 内 和 子
保健管理センター長	富 田 新
理 工 学 研 究 科 長	梅 村 一 之
人 文 学 研 究 科 長	茨 木 竹 二
科 学 技 術 学 科 主 任	中 田 芳 幸
表 現 文 化 学 科 主 任	小 池 久 恵
現 代 社 会 学 科 主 任	菊 池 真 弓
心 理 学 科 主 任	末 次 晃
薬 学 科 主 任	菊 池 雄 士
地 域 教 養 学 科 主 任	久 呉 高 之
物 質 理 学 専 攻 主 任	岩 田 恵 理
物 質 理 学 専 攻 副 主 任	山 浦 政 則
物 理 工 学 専 攻 主 任	竹 内 良 亘
物 理 工 学 専 攻 副 主 任	高 三 徳
物 質 理 工 学 専 攻	櫻 井 俊 明
物 質 理 工 学 専 攻 副 主 任	菊 池 雄 士
日 本 文 学 専 攻 主 任	松 本 麻 子 ( 代 行 )
英 米 文 学 専 攻 主 任	久 呉 高 之
社 会 学 専 攻 主 任	神 山 敬 章
臨 床 心 理 学 専 攻 主 任	窪 田 文 子

■教員一覧

▼科学技術学部

▼教養学部

▼薬学部

# 10. 資料

## 1) 大学データ

### 平成27年度 いわき明星大学 スクールカレンダー

#### 3月 (2015年)

月	火	水	木	金	土	日
23	24	25 手続〆切	26	27	28	29
30	31 1年オリ					

03/25(水) 入試手続〆切  
03/31(火) 1年生オリエンテーション

#### 4月

月	火	水	木	金	土	日
		1 1年ガイ	2 1年研修 2-6年ガイ	3 1年研修 4-6年健診	4 入学式 学生会説明	5
6 授業	7 授業	8 授業	9 授業	10 授業	11 授業	12
13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18 授業	19
20 授業	21 授業	22 授業	23 授業	24 授業	25 授業 白衣授与式	26
27 授業	28 授業	29 授業	30 授業			

04/01(水) 1年生ガイダンス  
04/02(木) 1年生コミュニケーション研修  
04/02(木) 2年生-6年生ガイダンス  
04/03(金) 1年生コミュニケーション研修  
04/03(金) 4-6年(学部), 2年(修士)健康診断  
04/04(土) 入学式  
04/04(土) 学生会説明会  
04/06~10 履修登録期間  
04/13~17 履修登録確認変更期間  
04/25(土) 白衣授与式(薬学5年)  
04/29(水) 昭和の日(休日): 授業日

#### 5月

月	火	水	木	金	土	日
				1 4/29振替	2 授業 1-3健診	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7 授業	8 授業	9 授業	10
11 授業	12 授業	13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17
18 授業	19 授業	20 授業	21 5/20振替	22 授業	23 授業	24
25 授業	26 授業	27 授業	28 授業	29 授業	30 授業	31

05/01(金) 昭和の日振替休日  
05/02(土) 1-3年(学部), 1年(修士)健康診断  
05/20(水) 学苑創立記念日(休日): 授業日  
05/21(木) 学苑創立記念日振替休日

#### 6月

月	火	水	木	金	土	日
1 授業	2 授業	3 授業	4 授業	5 授業	6 授業	7 父母会総会
8 授業	9 授業	10 授業	11 授業	12 授業	13 授業 公開講座	14 OPEN CAMPUS
15 授業	16 授業	17 授業	18 授業	19 授業	20 授業 公開講座	21
22 授業	23 授業	24 授業	25 授業	26 授業	27 授業 公開講座	28
29 授業	30 授業					

06/07(日) 父母会総会  
06/13(土) 公開講座  
06/14(日) オープンキャンパス  
06/20(土) 公開講座  
06/27(土) 公開講座

#### 7月

月	火	水	木	金	土	日
		1 授業	2 授業	3 授業	4 授業	5
6 授業	7 授業	8 授業	9 授業	10 授業	11 授業 表現文化祭	12
13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18 OPEN CAMPUS OPEN CAMPUS	19
20 海の日	21 授業	22 授業	23 授業	24 授業	25 授業	26
27 授業	28 試験・補講	29 試験・補講	30 試験・補講	31 試験・補講		

07/11(土) 表現文化祭(表現)  
07/18(土) オープンキャンパス  
07/19(日) オープンキャンパス

#### 8月

月	火	水	木	金	土	日
					1 試験・補講	2
3 試験・補講	4 教免講習	5 消防点検	6 消防点検	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 教免講習	19 教免講習	20	21 成績〆切	22 OPEN CAMPUS OPEN CAMPUS	23
24	25	26	27	28 CBT体験	29 全館停電	30 全館停電
31						

08/04(火) 教員免許更新講習  
08/05(水) 消防設備点検(ベル鳴動)  
08/06(木) 消防設備点検(ベル鳴動)  
08/18(火) 教員免許更新講習  
08/19(水) 教員免許更新講習  
08/21(金) 前期成績報告〆切  
08/22(土) オープンキャンパス  
08/23(日) オープンキャンパス  
08/28(金) CBT体験受験(薬学4年)  
08/29(土) 全館停電  
08/30(日) 全館停電

#### 9月 ※薬学部4~6年生は9/1から後期授業を開始します

月	火	水	木	金	土	日
	1 成績通知	2	3	4	5	6
7	8	9 前期学位授与	10 FD・SD研修	11	12 ガイダンス	13
14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18 授業	19 授業	20
21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 授業	25 授業	26 授業	27 父母懇談会
28 授業	29 授業	30 授業				

09/01(火) 前期成績通知  
09/09(水) 前期卒業・修了学位記授与式  
09/10(木) 第1回全学FD・SD研修会  
09/12(土) 後期ガイダンス  
09/14~18 履修登録確認変更期間  
09/27(日) 父母懇談会

平成27年度 いわき明星大学 スクールカレンダー

10月

月	火	水	木	金	土	日
			1 授業	2 授業	3 授業	4
5 授業	6 授業	7 授業	8 授業	9 授業	10 授業	11 AO1期
12 授業	13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18
19 授業	20 授業	21 体育祭	22 10/12振替	23 学園祭	24 学園祭	25
26 学園祭	27 授業	28 授業	29 授業	30 授業	31 授業	

10/11(日) 入試：AO1期  
 10/11(日) 入試：吹奏楽特待AO1期  
 10/11(日) 入試：専門高校・総合学科特別AO  
 10/12(月) 体育の日(休日)：授業日  
 10/22(木) 体育の日振替休日

11月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 授業	3 文化の日	4 授業	5 授業	6 授業	7 授業	8 推薦1期
9 授業	10 授業	11 授業	12 授業	13 授業	14 授業	15
					16 公開講座	
16 授業	17 授業	18 授業	19 授業	20 授業	21 授業	22
					22 公開講座	
23 授業	24 授業	25 授業	26 11/23振替	27 授業	28 授業	29
					29 公開講座	
30 授業						

11/08(日) 入試：推薦1期(指定校・公募)  
 11/08(日) 入試：社会人特別  
 11/14(土) 公開講座  
 11/21(土) 公開講座  
 11/23(月) 勤労感謝の日(休日)：授業日  
 11/26(木) 勤労感謝の日振替休日  
 11/28(土) 公開講座

12月

月	火	水	木	金	土	日
						6 OSCE
7 授業	8 授業	9 授業	10 授業	11 授業	12 授業	13
					12 AO2期・推薦2期	
14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18 授業	19 授業	20
21 授業	22 授業	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28	29	30	31			

12/06(日) OSCE本試験(薬学4年)  
 12/12(土) 入試：AO2期  
 12/12(土) 入試：吹奏楽特別AO2期  
 12/12(土) 入試：推薦2期(公募)

1月(2016年)

月	火	水	木	金	土	日
				1 元日	2	3
4	5	6 授業	7 授業	8 授業	9 授業	10
11 成人の日	12 授業	13 授業	14 授業	15 DNC準備	16 DNC	17 DNC
18 授業	19 授業	20 授業	21 授業	22 授業	23 実習報告	24
25 授業	26 試験・補講	27 試験・補講 一般1期	28 試験・補講	29 試験・補講	30 試験・補講 CBT	31

01/15(金) 大学入試センター試験準備  
 01/16(土) 大学入試センター試験  
 01/17(土) 大学入試センター試験  
 01/23(土) 実務実習報告会(薬学5年)  
 01/27(水) 入試：一般1期(2/3から変更)  
 01/30(土) CBT本試験(薬学4年)

2月

月	火	水	木	金	土	日
1 試験・補講	2	3	4 消防点検	5 消防点検	6	7
8	9	10	11 建国記念日	12 成績〆切 (卒業見込)	13	14
15	16	17 一般2期	18	19	20 成績〆切 (進級見込) OSCE再試	21
22	23 卒業判定	24 卒業発表	25	26	27	28
29						

02/04(木) 消防設備点検(ベル鳴動)  
 02/05(金) 消防設備点検(ベル鳴動)  
 02/12(金) 後期成績報告〆切(卒業見込)  
 02/17(水) 入試：一般2期(3/11から変更)  
 02/20(土) 後期成績報告〆切(進級見込)  
 02/20(土) OSCE再試験(薬学4年)  
 02/23(火) 卒業判定会議(教授会)  
 02/24(水) 卒業合否発表

3月

月	火	水	木	金	土	日
	1 自己推薦 成績通知 (卒業)	2	3	4	5 CBT再試	6
7	8 進級判定	9 FD・SD研修	10	11 成績通知 (進級)	12	13
14	15	16	17	18	19 学位記授与式	20 春分の日
21 振替休日	22	23	24	25	26	27 ブレOC
28	29	30	31			

03/01(火) 入試：自己推薦  
 03/01(火) 後期成績通知(卒業見込)  
 03/05(土) CBT再試験(薬学4年)  
 03/08(火) 進級判定会議(教授会)  
 03/09(水) 第2回全学FD・SD研修会  
 03/11(金) 後期成績通知(進級見込)  
 03/19(土) 学位記授与式  
 03/27(日) プレオープンキャンパス(仮称)

授業
試験・補講
行事

■学則

[いわき明星大学学則（2015年4月1日施行）](#)

## 2) 学生データ

■平成27年度 学位授与数

学部	学科	人数	男
科学技術学部	科学技術学科	40	33
科技 計		40	33
人文学部	表現文化学科	37	18
	現代社会学科	40	32
	心理学科	51	26
人文 計		128	76
薬学部	薬学科	54	16
薬 計		54	16
学部 計①		222	125

研究科	専攻	人数	男
理工学研究科	物質理学専攻	2	1
	物理工学専攻	1	1
理工 計		3	2
人文学研究科	英米文学専攻	1	0
	社会学専攻	1	1
	臨床心理学専攻	4	2
人文 計		6	3
研究科 計②		9	5

合計①+②		231	130
-------	--	-----	-----

■国家試験、公務員等の合格実績

○薬剤師国家試験の合格率

<b>【在学生】</b>	
受験者：在校生 (A)	54人
合格者 (B)	54人
合格率 (B/A)	100%
<b>【卒業生】</b>	
受験者：卒業生 (C)	21人
合格者 (D)	20人
合格率 (D/C)	95%
<b>【全体】</b>	

受験者：全体 (A+C)	75 人
合格者 (B+D)	74 人
合格率 (B+D) / (A+C)	99%

○教員合格者数

1 名 (福島県 / 中学校 / 理科)

○公務員合格者数

4 名 (下郷町役場, 檜葉町役場, 法務省人事院東北事務局, 自衛官)

○日経 225 企業採用者数

6 名 (損害保険ジャパン日本興亜 (株), 大和証券 (株), 東京電力 (株) ※3 名, (株) ファーストリテイリング)

○進学率

平成 27 年度の進学率は、科学技術学部 5.0 %、人文学部 3.9% (うち表現文化学科 5.4%、心理科 5.9%)、薬学部 1.9%、全体で 3.6% でした。

<主な進学先> 科学技術学部：いわき明星大学大学院理工学研究科、人文学：いわき明星大学大学院人文学研究科、薬学部：大阪大学大学院医学系研究科

■資格取得状況

○薬剤師：74 名 (合格率：98.67%)

○中学校教諭一種免許状 (理科)：2 名

○中学校教諭一種免許状 (英語)：2 名

○中学校教諭一種免許状 (社会)：6 名

○中学校教諭専修免許状 (理科)：1 名

○高等学校教諭一種免許状 (理科)：3 名

○高等学校教諭一種免許状 (英語)：2 名

○高等学校教諭一種免許状 (地理歴史)：3 名

○高等学校教諭一種免許状 (公民)：4 名

○高等学校教諭専修免許状 (理科)：1 名

○小学校教諭 2 種免許状：1 名

○社会教育主事：1 名

○図書館司書：7 名

○学校図書館司書教諭：1 名

○学芸員：4 名

○日本語教員：1 名

■休退学状況

○平成27年度休学者

学部学科学年別 休学者数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	休学率 (学科)
科学技術学部	科学技術学科		3		1			4	2.6%
	小計		3		1			4	2.6%
人文学部	表現文化学科				1			1	0.8%
	現代社会学科		2	1				3	2.9%
	心理学科		7	3	3			13	7.6%
	小計		9	4	4			17	4.3%
薬学部	薬学科	7		6			2	15	3.6%
	小計	7		6			2	15	3.6%
教養学部	地域教養学科	3						3	3.4%
	小計	3						3	3.4%
計		10	12	10	5	0	2	39	3.7%

※休学率は3/1学生数:科技150名・表現119名・現社105名・心理172名・薬417名・教養89名で算出

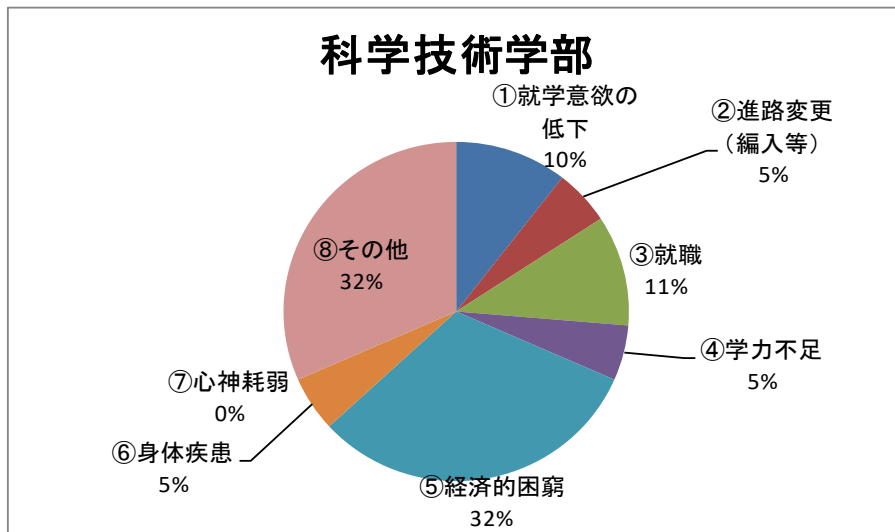
学部別休学理由

	科技	人文	教養	薬	大学	計
①就学意欲の低下						0
②進路変更(他大学/専門学校進学)		1		1		2
③進路変更(就職)		1				1
④学力不足(留年)				2		2
⑤経済的困窮	1	2		3		6
⑥体調不良(病気療養)	2	11	3	8		24
⑦心身耗弱						0
⑧一身上の都合	1	2		1		4
計	4	17	3	15	0	39

◆平成27年度退学者（理由別集計）

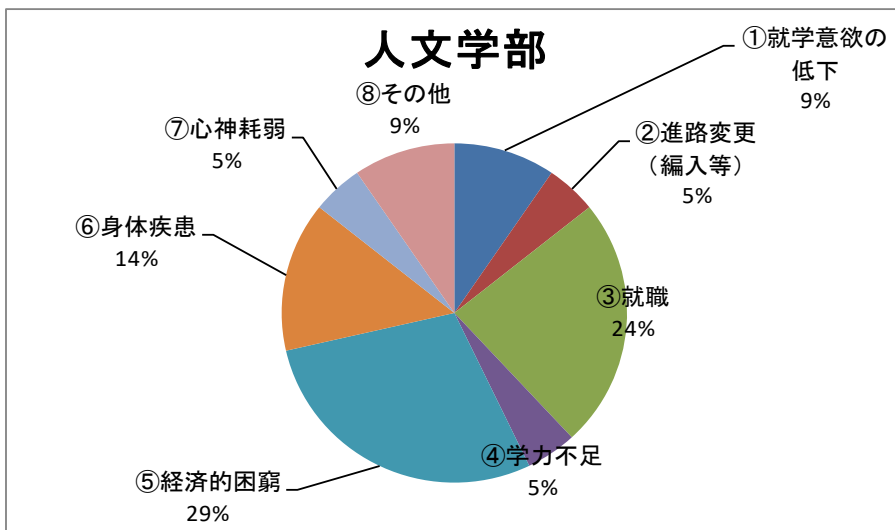
科学技術学部

(人)	
①就学意欲の低下	2
②進路変更(編入等)	1
③就職	2
④学力不足	1
⑤経済的困窮	6
⑥身体疾患	1
⑦心神耗弱	0
⑧その他	6
計	19



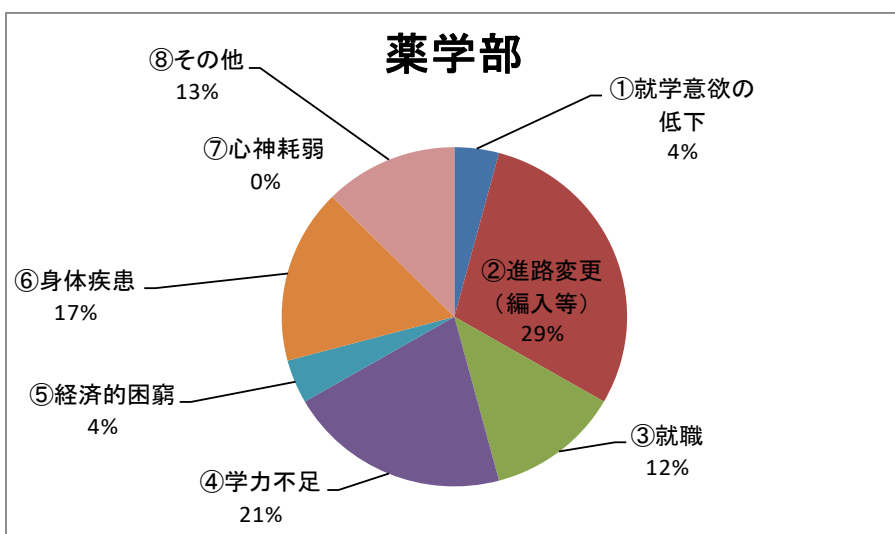
人文学部

(人)	
①就学意欲の低下	2
②進路変更(編入等)	1
③就職	5
④学力不足	1
⑤経済的困窮	6
⑥身体疾患	3
⑦心神耗弱	1
⑧その他	2
計	21



薬学部

(人)	
①就学意欲の低下	1
②進路変更(編入等)	7
③就職	3
④学力不足	5
⑤経済的困窮	1
⑥身体疾患	4
⑦心神耗弱	0
⑧その他	3
計	24





## ■転部転科状況

平成27年度の転部転科による他学部他学科への転出者は、薬学部から転出の25名です。転部転科率については、以下の通りです。

\* 学生数は、平成27年5月1日付 学生生徒等在籍状況

○薬学部からの転部転科による転出率（転部転科率）

6%

○薬学部からの学年別転部転科率

1年生・・・7%

2年生・・・10%

3年生・・・19%

○薬学部からの転部転科先内訳

科学技術学部・・・36%

表現文化学科・・・8%

心理学科・・・20%

地域教養学科・・・36%

## ■進級状況

本学では、科学技術学部と人文学部、および教養学部において、2年生から3年生、3年生から4年生へ進級する際に、薬学部においては全ての学年へ進級する際に、進級の合否判定を行っています。進級判定基準は、学生の入学年度の「履修の手引」に掲出しているとおりです。進級判定により基準に未達とされて不合格となった学生や休学した学生は留年となります。

平成27年度の進級率は表1の通りです。

(表1)

■平成27年度 進級合格者<5年生から6年生>

学科名	進級率
薬学科	97.7%

■平成27年度 進級合格者<4年生から5年生>

学科名	進級率
薬学科	94.1%

■平成27年度 進級合格者<3年生から4年生>

学科名	進級率
科学技術学科	86.3%
表現文化学科	80.0%
現代社会学科	82.9%
心理学科	87.2%
薬学科	67.3%
合計	80.6%

■平成27年度 進級合格者<2年生から3年生>

学科名	進級率
科学技術学科	85.5%
表現文化学科	85.0%
現代社会学科	74.1%
心理学科	83.3%
薬学科	78.8%
合計	81.9%

■平成27年度 進級合格者<1年生から2年生>

学科名	進級率
薬学科	68.4%



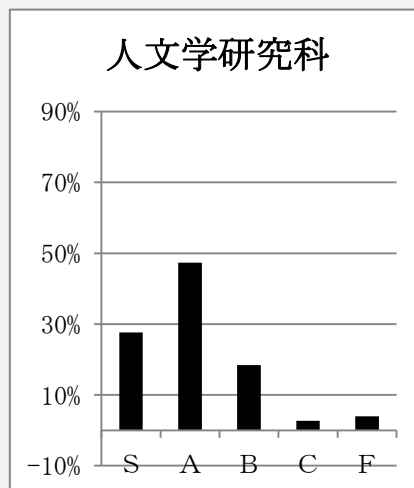
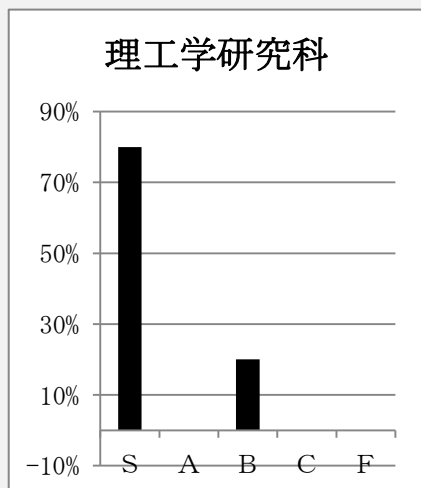
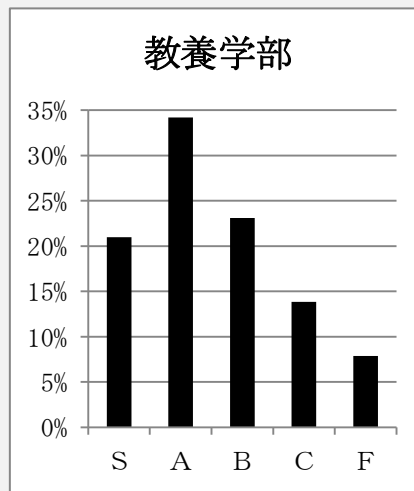
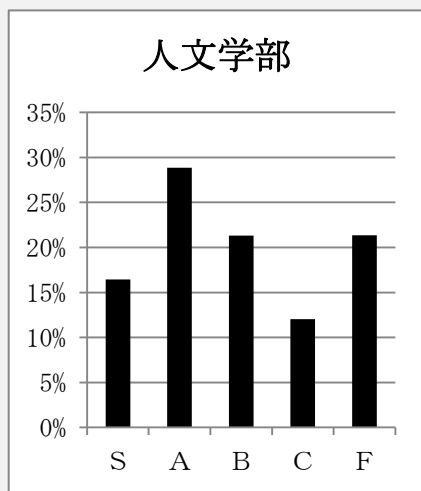
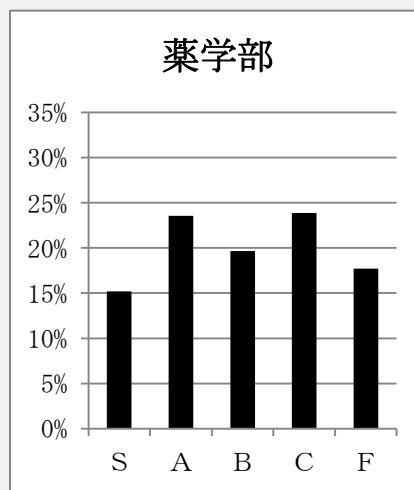
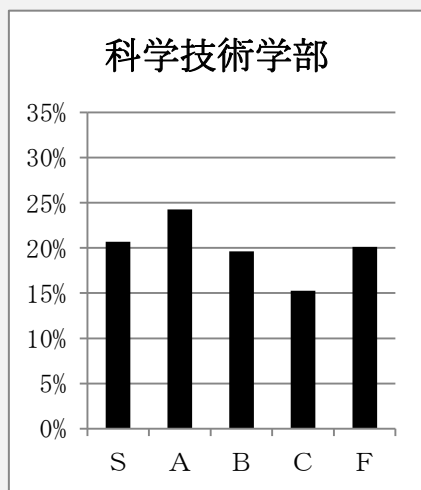
■学習行動調査

▼「平成27年度学修行動調査報告書」

■成績分布

平成27年度の学部ごとの成績分布は、次の通りです。

(集計の対象は、平成27年度末時点で在籍していた学生です)



## ○集計方法

- ・平成27年度に確定した成績のみを対象とする。  
※平成26年度までに確定した成績は、集計の対象外とする。
- ・学部、研究科ごとに、所属する学生の成績のみを集計する。  
※専門教育科目、全学共通教育科目等の区別はしない。

## ○成績の記号

S (秀)	100点～90点
A (優)	89点～80点
B (良)	79点～70点
C (可)	69点～60点
F (不可)	59点以下 (不合格)

## ■平成27年度 GPA について

### 1. 計算方法

成績評価のS、A、B、C、F（秀、優、良、可、不可）にそれぞれ4、3、2、1、0の数値（GP）を与え、次にそれぞれのGPに科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位数で除して算出する。GPAは小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの数値とする。

### 2. GPA のルール

本学では、次のようなルールでGPAを計算する。

- ・卒業に関わるすべての履修科目（全学共通教育科目と専門教育科目）を対象とする。
- ・合格判定科目（P、H）及び認定科目（単位互換による他大学の単位等）は含めない。
- ・不合格科目も計算の対象とする。

### 3. GPA の利用

- ・奨学金貸与基準
- ・成績優秀者表彰基準
- ・修学支援及び履修指導

平成27年度 学科別 GPA 平均値

学科名	科学技術学科	表現文化学科	現代社会学科	心理学科	地域教養学科	薬学科
GPA平均値	2.1	2.3	1.8	2.0	2.4	2.2

※GPA平均値は、学生の累計GPA値を学科別・全

## ■ジェネリックスキル調査

本学では、ジェネリックスキル（社会人基礎力）を測定・数値化する PROG テストを実施しています。

薬学部 薬学科 1年生 95名 4月10日実施

3年生 38名 4月10日実施

4年生 34名 4月10日実施

教養学部 地域教養学科 1年生 90名 4月28日実施

## ■満足度

▼[2015年度 いわき明星大学学生生活実態調査〔報告書〕](#)

## ■学内スクール受講者数

学修総合支援センター（CLASS）の IMU ビジネスカレッジ部門では、キャリアアップをサポートする正課外の学内スクールとして、下記の専門講座を開講しています。

各々の資格取得に豊富なノウハウを持つ本学教員や外部講師がその指導にあたっています。

公務員試験対策講座：10名

MOS 対策講座：35名

SPI 試験対策講座：42名

日商簿記検定試験対策講座：25名

## ■課外活動状況

本学では、平成23年に「ボランティアセンター」を設置し、学生のボランティア活動を課外活動の一環として積極的に推進しています。平成27年度の活動状況は以下の通りです。

No.	活動日	活動名	参加人数
1	4/12	かしまふれ愛さくらまつり	2
2	5/31	いわき子どもまつり	2
3	6/20, 21	野菜、人、収穫祭（好間会場）	3
4	6/28	野菜、人、収穫祭（田人会場）	3
5	7/12	アクアソーシャルフェス	3
6	7/22	小川郷駅開業100周年記念イベント	2
7	8/4	キッズ・ゲルニカ 壁画制作	9
8	8/中	「田んぼアート」看板制作	7
9	8/19-21	合同ボランティア研修	5
10	10/5	学内ゴミ拾い	8
11	10/17	中央台公民館祭り	4
12	11/9	福島県議会議員選挙 啓発活動	10

13	11/23	学内ゴミ拾い	10
14	12/21	学内ゴミ拾い	10
15	2/14	いわきサンシャインマラソン	34
16	3/2-4	合同ボランティア研修	14
17	3/13	いわき市ボランティアフェスティバル	1
合 計			127

### 3) 教職員データ

#### 教職員 一覧

	教 員		職 員		職員(契約)		合 計	
	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢	人数	平均年齢
男 (77.5%)	77	55.9	23	48.0	4	66.3	104	54.5
女 (22.5%)	19	54.2	10	48.7	16	37.6	45	47.1
合計	96	55.6	33	48.2	20	43.4	149	52.3

#### 教員の職位

	男	女	合計
客員教授	1	0	1
教授	39	10	49
研究助手等	1	1	2
准教授	20	6	26
講師	2	1	3
助教	7	0	7
特任教授	3	0	3
特任助教	0	1	1
特別教授	4	0	4
	77	19	96

#### 年齢構成

年齢	専任教員	専任職員	契約・嘱託職員
20代	0	0	2
30代	10	3	9
40代	22	16	5
50代	26	13	1
60代	33	1	3
70代	5	0	0

### 4) 会議データ

#### ■委員会一覧

本学では、教学に関する管理運営を適切に行うため、いわき明星大学学則および諸規程において、以下の会議体等の設置を定め、大学運営に関する審議等を行っています。

また、本学では教学担当の副学長を配置し、教育および学生の学修支援に関する学長の職務を補佐する体制をとっています。

#### (1) 大学評議会

- ① 大学評議会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、図書館長、地域連携センター長、心理相談センター長、学修総合支援センター長、学部所属教授各2名をもって組織します。
- ② 学長は、大学評議会を招集し、その議長となります。
- ③ 大学評議会は学長の諮問に応じて、以下の事項を審議します。

- 教育、研究に関する全学的重要事項

- 学則その他重要な規則に関する全学的共通事項
- 学生の厚生補導およびその身分の基準に関する事項
- 全学共通教育科目および全学的な資格科目に関する事項
- その他必要と認められる事項

## (2) 学部教授会

- ① 学部教授会は、当該学部にも所属する専任の教授、准教授、講師、助教をもって組織します。
- ② 学部長は、教授会を招集し、その議長となります。
- ③ 教授会は、当該学部に関わる以下の事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとします。
  - 学生の入学および卒業に関する事項
  - 学位の授与に関する事項
  - その他、教育研究に関する重要な事項で、学長が定める事項

## (3) 学部長会

- ① 学部長会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、事務局長をもって構成します。  
学長が必要と認めたとき、他の教職員を加えることができます。
- ② 学長は、学部長会を招集し、その議長となります。
- ③ 学部長会は、大学全体の運営に関する事項の連絡調整を行います。

## (4) 委員会

### ① 諮問委員会

諮問委員会は、学長が必要に応じて設置できる委員会として学則に規定されています。諮問委員会は学長が必要と認めた者で組織されます。委員長は学長が指名し、委員長が委員会を招集し、議長となります。現在設置されている諮問委員会は以下の通りです。

- 自己評価委員会
- 広報委員会
- 入試委員会
- 教務委員会
- 学生生活委員会
- キャリア・就職委員会
- FD・SD委員会
- 大学入試センター試験実施委員会

## ②附属教育研究機関等の運営委員会

- 図書館運営委員会
- 地域連携センター運営委員会
- 心理相談センター運営委員会
- 保健管理センター運営委員会
- 学修総合支援センター運営委員会

## ③学内規程に基づく委員会

- 労働安全衛生委員会
- エコ推進委員会
- 個人情報運用管理委員会
- ハラスメント防止・対策委員会
- 薬用植物園運営委員会
- 遺伝子組換え生物等委員会
- いわき明星大学勤労奨学金選考委員会
- いわき明星大学奨学生選考委員会
- 動物実験委員会
- バイオセイフティ委員会
- 公開講座運営委員会
- 防火・防災管理委員会
- 不正防止計画推進委員会
- いわき明星大学研究倫理委員会
- 全学教育委員会

教授会開催日

科学学技術学部	教養学部 <sup>(*)</sup>	薬学部
定例 11回 臨時 3回	定例 11回 臨時 3回	定例 11回 臨時 2回
4月22日	4月4日 臨時	4月25日
5月7日 臨時	4月22日	5月30日
5月27日	5月27日	6月27日
6月24日	6月24日	7月25日
7月22日	7月22日	9月26日
9月30日	9月16日	10月31日
10月28日	10月28日	11月28日
11月25日	11月25日	12月19日
12月16日	12月9日 臨時	12月26日 臨時
1月27日	12月16日	1月30日
2月9日 臨時	1月27日	2月23日
2月23日	2月23日	3月8日 臨時
3月8日 臨時	3月8日 臨時	3月18日
3月16日	3月16日	

(\*) 人文学部教授会も兼ねる

研究科委員会開催日

理工学研究科	人文学研究科
定例 7回 臨時 1回	定例 11回 臨時 2回
4月22日	4月22日
5月8日 臨時	4月29日 臨時
5月27日	5月27日
7月22日	6月24日
10月28日	7月22日
11月25日	9月16日
12月16日	10月28日
2月23日	11月25日
	12月16日
	1月27日
	2月23日
	3月8日 臨時
	3月16日

## 5) 教育活動

### ■優良教員

平成 27 年度 優秀教員の顕彰について

#### 1. 顕彰種類 「優秀教育賞」

所属学部	氏名等
科学技術学郎	佐々木 秀明
教養学部	大島 典子
教養学部	末次 晃
教養学部	松本 麻子
薬学部	松本 司
薬学部	江藤 忠洋

#### 2. 顕彰内容

表彰状および副賞 10 万円の研究・教育費



■派遣講師

○科学技術学部 科学技術学科

	期間・日程	件名	教員名	依頼者
1	平成27年7月8日	平成27年度「第3学年総合的な学習の時間」への講師派遣依頼	東 之弘	福島県立磐城高等学校 校長 箱崎温夫
2	平成27年5月 ～平成28年3月	平成27年度文部科学省委託事業 放射線に関する教職員セミナーおよび 出前モデル授業への講師派遣依頼	石川哲夫	エネルギー・環境理科教育 推進研究所 代表理事 中村 日出夫
3	平成27年7月9日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	福島県立湖南高等学校 校長 安倍 真一郎
	同上	同上	石川哲夫	同上
4	平成27年7月16日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	いわき市立藤間中学校 校長 小泉 俊夫
5	平成27年9月8日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	榎葉町立榎葉中学校 校長 伊藤 浩樹
	同上	同上	石川哲夫	同上
6	平成27年9月9日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	いわき市立中央台北中学校 校長 石井 潤
	同上	同上	石川哲夫	同上
7	平成27年9月25日	第53回東北地区肢体不自由教育研究大会 (福島大会)への講師派遣依頼	中尾 剛	大会主管校 福島県立平養護学校 校長 瀬戸 良英
8	平成27年9月29日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	中島村立中島中学校 校長 後藤 さとみ
9	平成27年10月6日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	福島市立福島第三小学校 校長 山縣 眞二
10	平成27年10月15日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	南会津町立田島小学校 校長 川島 敬章
11	平成27年10月14日	再生可能エネルギー講演会への講師派遣申請	東 之弘	福島県立安達高等学校 校長 佐藤 信常
12	平成27年10月16日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	会津若松市立湊小学校 校長 齋藤 茂幸
13	平成27年11月5日	エネルギー教室への講師派遣申請	東 之弘	福島市立福島第三小学校 校長 山縣 眞二

○教養学部 地域教養学科

	期間・日程	件名	教員名	依頼者
1	平成27年5月28日	平成27年度「保健講話」に係る講師派遣依頼 演題「受験期のストレスマネジメント」	大島 典子	福島県立福島南高等学校長
2	平成27年6月2日	ホームスタートビジター養成講座における講師派遣 依頼 講義内容「傾聴の意義と方法1」「傾聴の意 義と方法2」	窪田 文子	特定非営利活動法人Commune with助産師 理事長
3	平成27年6月9日	コミュニティ交流員の傾聴研修での講師派遣依頼	窪田 文子	NPO法人3.11被災者を支援するい わき連絡協議会 事務局長
4	平成27年6月24日 平成27年7月13日 平成27年8月6日 平成27年9月1日 平成27年11月26日 平成28年1月14日	平成27年度認知症介護実践者研修に係る講師派遣 依頼	菊池 真弓	社会福祉法人明智福祉会理事長
5	平成27年6月26日	地域社会学「原発事故及び長期避難生活の地域社 会への影響について」ゲストスピーカーとして講師派 遣依頼	高木 竜輔	明星大学 人文学部長
6	平成27年6月27日	いわき市男女共同参画週間「オープンセミナー」にお ける講師派遣依頼	窪田 文子	いわき市長
7	平成27年6月27日 平成27年7月29日	地域でつながる家庭教育応援事業:「子育て支援に おける傾聴の意義と理解」に係る講師依頼	窪田 文子	福島県教育委員会教育長
8	平成27年6月30日	環境エネルギー教室 講師派遣依頼	石川 哲夫	いわき市郷ヶ丘小学校 校長
9	平成27年7月1日	睡眠健康教室における講師派遣依頼 「睡眠と健康 リラックス法の講話及び実技」	窪田 文子	いわき市長
10	平成27年7月10日	平成27年度「U30健康教育セミナー」の講師派遣依頼	大島 典子	福島県総務部長、地方職員共済組 合福島県支部長

11	平成27年7月17日	登録手話通訳者研修会の講師派遣依頼	山本 佳子	いわき市聴力障害者会 会長 久志田勝通
12	平成28年8月11日	高崎大学教員免許状更新講習 選択講習「情報処理技術の習得と活用(Excelの基礎と教育への活用)」の講師依頼	山口 憲二	高崎経済大学 学長 石川弘道
13	平成27年8月19日	「平成27年度ボランティアスタート講座」における講師派遣依頼	柳澤 孝主	社会福祉法人 いわき市社会福祉協議会 会長
14	平成27年8月20日	第35回福島県特別支援教育研究大会いわき大会分科会の指導助言者として講師派遣依頼	山本 佳子	第35回福島県特別支援教育研究大会いわき大会 実行委員長
	同上	同上	窪田 文子	同上
	同上	同上	大島 典子	同上
15	平成27年8月26日	平成27年度ストレスマネジメント教育の講師派遣依頼	窪田 文子	いわき総合高等学校 校長 吉田豊彦
16	平成27年8月26日	放射線教育 講師派遣依頼	石川 哲夫	いわき市立好間第二小学校 校長
17	平成27年8月29日 平成27年10月31日 平成28年1月30日	市民講座「いわき・ふれあい・ふくし塾」における講師派遣依頼	鎌田 真理子	いわき・ふれあい・ふくし塾 塾長 清水 敏男(いわき市長)
	同上	同上	菊池 真弓	いわき・ふれあい・ふくし塾 塾長 清水 敏男(いわき市長)
	同上	同上	柳澤 孝主	いわき・ふれあい・ふくし塾 塾長 清水 敏男(いわき市長)
18	平成27年9月1日	文部科学省委託「インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業(スクールクラスター)」三春町教育委員会合同研修会における講師派遣依頼	山本 佳子	三春町教育委員会 教育長
19	平成27年9月18日	平成27年度(第69回)県下小中学校音楽祭第2部「合奏」いわき地区大会審査員	根本 直人	いわき市小・中学校長会連絡協議会 会長
20	平成27年9月26日	いわき市生涯学習プラザ主催講座「インターネットの危険から子どもを守ろう」における講師派遣依頼	中尾 剛	いわき市生涯学習プラザ 館長 鈴木 秀幸
21	平成27年10月7日	「障害者福祉の基礎」講義講師派遣依頼	鎌田 真理子	手話講習会運営委員会 運営委員長
22	平成27年10月7日	メディアリテラシーについての講師派遣依頼	中尾 剛	福島県立いわき総合高等学校 校長
23	平成27年10月7日	福島県青少年総合相談センター・ひきこもり支援センター運営共同体第1回スーパーヴァイズにおける客観的助言を行う講師派遣依頼	山本 佳子	福島県青少年育成県民会議 会長 代理人 副会長 杉原 陸夫
24	平成27年10月10日 平成27年5月8日 平成27年6月12日 平成27年7月10日 平成27年9月11日 平成27年11月13日 平成27年12月11日 平成28年1月8日 平成28年2月12日	平成27年度福祉事業①第16回ふれあいまつり②「あそびり教室」への講師派遣	菊池 真弓	いわき市中央台飯野一区区内会 区長
25	平成27年10月14日	中学校・高等学校経験者研修Ⅰ教科指導研修(音楽科)の講師派遣依頼	根本 直人	福島県教育センター所長
26	平成27年10月20日	放射線教育 講師派遣依頼	石川 哲夫	いわき市立平第三中学校 校長
27	平成27年10月31日	「がん予防・がん検診の“集い”」における講師派遣依頼	鎌田 真理子	福島県保健福祉部長
28	平成27年11月5日	エネルギー教室への講師派遣	石川 哲夫	福島市立福島第三小学校 校長
29	平成27年11月11日	心理コキウム第109回公演「見た目・行動から評価される『やる気』」における講師依頼	名取 裕典	中部大学 人文学部長 速水 敏彦
30	平成27年11月13日	職員研修(テーマ:現代社会におけるハラスメント)の講師派遣依頼	神山 敬章	公益財団法人いわき市教育文化事業団理事長
31	平成27年11月14日	いわき市平方部PTA連絡協議会研修会講師 演題:「子どもを動かす親の関わり方」について	菊池 真弓	いわき市平方部連合PTA会長
32	平成27年12月15日	平成27年度いわき市思春期保健セミナーにおける講師	鎌田 真理子	いわき市長
33	平成28年1月21日	平成27年度福島県青少年総合相談センター・ひきこもり支援センター運営共同体第3回スーパーヴァイズにおける客観的な助言を行う講師派遣依頼について	山本 佳子	福島県青少年育成県民会議 会長
34	平成28年1月14日	PTA子育て講習会の開催に伴う講師派遣依頼について	窪田 文子	いわき市郷ヶ丘小学校 校長

35	平成28年1月30日	「第1期市民後見人養成講座」に係る講師派遣依頼について	鎌田 真理子	いわき市長
36	平成28年2月4日	講義「インターネットおよびSNS等利用時の情報流出に関する留意点等について」の講師派遣依頼	中尾 剛	福島県警察本部 生活環境課長
37	平成28年2月27日	「発達障がい者の支援を考える講演会」の講師派遣	大島 典子	社会福祉法人エル・ファロ理事長
38	平成28年2月28日～平成28年3月6日	東北大学大学教員準備プログラム(PFFP)及び東北大学新任教員プログラム(NFP)海外集中コース「海外の他大学訪問調査」開催に伴う講師	川井 一枝	東北大学高度教養教育・学生支援機構長
39	平成28年3月3日	講演会「いわき市災害公営住宅の“これから”を考える」の講師派遣依頼	高木 竜輔	NPO法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会 支援ディレクター
40	平成28年3月14日	平成27年度いわきの復興を担う地域コミュニティ重点支援事業成果報告会の講師・講評の派遣について	高木 竜輔	福島県いわき地方振興局長

○薬学部 薬学科

	期間・日程	件名	教員名	依頼者
1	平成27年5月8日	社内勉強会における講演	吉川真一	興和創薬株式会社 仙台支店 支店長 廣瀬 隆
2	平成27年7月14日	薬物乱用防止教室での講話	櫻井 映子	いわき市立平第二中学校
3	平成27年7月14日	いわき地区インスリン治療講演会	富岡節子	いわき地区インスリン治療講演会
4	平成27年7月15日	薬物乱用防止教室 講師	櫻井 映子	宮城県健康教育課長
5	平成27年7月21日	社内勉強会	吉川真一	中外製薬株式会社 南東北営業部 福島新薬一室室長 五十嵐 徹
6	平成27年10月9日	大学院特別講義	江藤忠洋	日本大学大学院生物資源科学研究科長 河野英一
7	平成27年10月17日	「第14回医療薬学若手研究者セミナー」における講演要請	佐藤陽	日本薬学会東北支部 支部長 根東 義則
8	平成27年10月24日	「第29回教育サロンin関東」における話題提供	中越 元子	教育サロン事務局
	同上	同上	野原 幸男	同上
9	平成27年11月6日	第2回図書館くらしのセミナー「薬の正しい飲み方・使い方」	吉川真一	いわき市立いわき総合図書館 館長 夏井芳徳
10	平成27年11月17日	「動脈硬化を予防する糖尿病薬物療法 -SMART PHARMACOTHERAPY-」 ※社内の薬剤師に対する講義	富岡 節子	アポロメディカルホールディングス株式会社 代表取締役 我妻 照男
11	平成27年11月18日	薬物乱用防止教室	櫻井映子	いわき市立宮小学校長 鈴木 廣美
12	平成28年1月19日	あすか製薬株式会社社内研修会 講演「(仮)薬薬連携について」	吉川真一	あすか製薬株式会社 東北支店 支店長 本江清郎
13	平成28年1月29日	教職員研修会「偏差値39と向き合う「イグナイト教育」の8年間	中越元子	学校法人 北陸大学 理事長 小倉勤
14	平成28年2月1日	薬物乱用防止教室 講師	櫻井映子	宮城県健康教育課長
15	平成28年2月18日	FD研修会「イグナイト教育－学生の意欲を引き出す体系的教育実践－」	中越元子	松山大学 学長 村上広之
16	平成28年3月13日	第18回新人・新任者研修会における講演(演題名:がん疼痛薬物療法の考え方)	吉川真一	福島県病院薬剤師会 病診委員会委員長 鈴木隆広
17	平成28年3月12日	第18回新人・新任者研修会における講演(演題名:新人薬剤師が考える薬学生長期実務実習)	小佐野摩子	福島県病院薬剤師会 病診委員会委員長 鈴木隆広
18	平成28年3月14日	成人・高齢者学級の健康講座	村田 和子	古殿町公民館長 野崎 貴弘 氏

○出前講座(アドミッションセンター)

No	日付	内容	対象学年	学科	本学担当教職員	高校名
1	4月25日	「やる気になる？やる気はある？」	全	教養学部 地域教養学科	名取 洋典	福島県立長沼高等学校
2	5月15日	キャリア教育	全	教養学部 地域教養学科	山口 憲二	福島県立石川高等学校
3	5月28日	「進路選択に関する内容」	1・2	教養学部 地域教養学科	名取 洋典	福島県立猪苗代高等学校
4	6月4日	英語教授法	1	教養学部 地域教養学科	菊池 武	翔洋学園水戸校
5	6月12日	危険ドラッグについて	1・2	薬学部 薬学科	山崎 勝弘	福島県立安積高等学校
6	7月15日	高校生に知ってほしい放射線・放射能の話、意識と無意識の心理学	1	科学技術学部 科学技術学科	佐藤 健二	福島県立石川高等学校
7	同上	同上	1	教養学部 地域教養学科	大原 貴弘	福島県立いわき総合高等学校
8	9月3日			薬学部 薬学科	永田 隆之	福島県立相馬東高等学校
9	9月11日	免疫の不思議	1・2	薬学部 薬学科	村田 和子	岩手県立水沢高等学校
10	9月15日	英語教授法	1	教養学部 地域教養学科	川井 一枝	翔洋学園水戸校
11	10月2日			薬学部 薬学科	永田隆之	福島県立船引高等学校
12	10月21日		保護者	教養学部 地域教養学科	名取 洋典	福島県立磐城高等学校
13	10月22日	いじめの問題について	1	教養学部 地域教養学科	神山 敬章	福島県立新地高等学校
14	10月23日	薬学に関する内容	2	薬学部 薬学科	松本 司	福島県立湯本高等学校
15	11月16日	キャリア教育	全	教養学部 地域教養学科	山口 憲二	福島県立喜多方東高等学校
16	12月11日			教養学部 地域教養学科	初見 康行	福島県立小名浜高等学校
17	11月19日			薬学部 薬学科	松本 司	福島県立いわき光洋高等学校
18	10月22日	マーケティング・販売	1	教養学部 地域教養学科	佐原 太郎	福島県立平商業高等学校
19	10月24日	親が今やるべきこと	保護者	教養学部 地域教養学科	田中 美和	宮城県石巻工業高等学校
20	10月30日	キャリア教育	1・2	教養学部 地域教養学科	田中 美和	第一学院高萩校
21	11月10日	英語教授法	全	教養学部 地域教養学科	西村 康平	翔洋学園水戸校
22	11月25日	日本語教授法	全	教養学部 地域教養学科	松本 麻子	翔洋学園水戸校
23	11月17日	薬学に関する内容	1・2	薬学部 薬学科	松本 司	宮城県仙台東高等学校
24	11月20日	教養学部とは	2	教養学部 地域教養学科	大原 貴弘	福島県立勿来高等学校
25	11月25日	心理学	2	教養学部 地域教養学科	高島 翠	福島県立若松商業高等学校
26	12月10日	体験型模擬講義(心理学)	1・2	教養学部 地域教養学科	名取 洋典	福島成蹊高等学校
27	2月24日	体験型模擬講義(語学)	1	教養学部 地域教養学科	西村 康平	福島県立長沼高等学校
28	3月3日	体験型模擬講義(小中教員)	1	教養学部 地域教養学科	石川 景一	福島県立四倉高等学校
29	3月4日	「やる気になる？やる気はある？」、「東日本大震災の社会学-浜通りの復興を目指して」	1・2	教養学部 地域教養学科	高木 竜輔	福島県立川口高等学校
30	同上	同上	同上	教養学部 地域教養学科	名取 洋典	同上
31	3月10日	心理学	2	教養学部 地域教養学科	高島 翠	福島東稜高等学校
32	3月15日	薬学に関する内容	1	薬学部 薬学科	村田 和子	福島県立船引高等学校

■授業改善アンケート

- ▼[科学技術学部](#)
- ▼[現代社会学科](#)
- ▼[心理学科](#)
- ▼[表現文化学科](#)
- ▼[地域教養学科](#)
- ▼[薬学科](#)

6) 社会貢献活動

■外部委員・講師一覧

- ▼[科学技術学部](#)・[教養学部](#)・[薬学部](#)

## 7) 研究活動

### ■ 外部資金採択状況

#### 平成27年度分 受託研究費

契約開始日	契約終了日	学部学科	研究者	研究課題	契約先	金額	備考
2011/6/28	2016/2/29	科学技術学部 科学技術学科	東之弘	「HFO-1234ze(Z)」の基本物性およびサイクル性能に関する研究 「低GWP混合冷媒の探求とその基本物性およびサイクル性能に関する研究」	国立大学法人九州大学	¥4,187,000	H23～H25年度までの3か年契約 H23年度 7,003,000円(内 消費税額及び地方消費税額 333,476円) 直接経費 6,090,000円、間接経費 913,000円 H24年度 8,498,000円(内 消費税額及び地方消費税額 404,667円) 直接経費 7,390,000円、間接経費 1,108,000円 H25年度 4,295,000円(内 消費税額及び地方消費税額 204,523円) 直接経費 3,735,000円、間接経費 560,000円 追加 H23～H27年度までの5か年契約 H26年度 5,500,000円(内 消費税額及び地方消費税額 407,407円) 直接経費 4,400,000円、間接経費 1,100,000円 H27年度 4,187,000円(内 消費税額及び地方消費税額 310,148円) 直接経費 3,350,000円、間接経費 837,000円 H23年6月に九州大学が新エネルギー産業技術総合開発機構と契約した「抗効率ノンフロン型空調機器技術の開発 冷媒の性能、安全評価 業務用空調機器に適した低GWP冷媒の探求とその安全性、物性および性能評価」に関する業務委託契約のうち、左記テーマに関して契約したもの。
契約締結日	2016/3/31	人文学部 心理学科	窪田 文子	H27年度教職員メンタルヘルスカウンセリング事業	福島県教育委員会	¥0	カウンセリング相談料 2,778円(税抜)/件
2015/3/1	2016/3/27	科学技術学部 科学技術学科 産学連携研究センター	東之弘 鈴木 裕宣	「熱電変換半導体を用いたセンタ性能検証・商品化検証」	株式会社ヒューセック	¥500,000	費用はH26年度支払済み
2015/4/1	2016/3/31	人文学部 心理学科	窪田 文子	こころのケア事業	警察共済組合福島県支部	¥0	カウンセリング相談料 初回2,000円/件 (消費税及び地方消費税を含む) 2回目3,000円/件 (消費税及び地方消費税を含む)
2015/4/1	2016/2/29	科学技術学部 科学技術学科	東之弘	PvTx性質の計測及び臨界点近傍における飽和温度・飽和密度の計測	旭硝子株式会社 化学品カンパニー	¥1,000,000	1,000,000円 直接経費 900,000円 間接経費 100,000円 (消費税及び地方消費税を含む)
2015/4/28	2016/3/31	人文学部 心理学科	山本 佳子	「心理相談」事業委託(いわき市職員に対する心理相談)	いわき市	¥0	カウンセリング相談料 2,000円/件 (消費税及び地方消費税を含む)
2015/4/2	2016/3/18	人文学部 心理学科	窪田 文子	こころのケア連携事業業務	いわき市教育委員会	¥0	カウンセリング相談料 3,240円/件 (うち消費税及び地方消費税の額240円)
2015/8/1	2016/7/31	科学技術学部 科学技術学科	中尾 剛	いわき地域におけるUHF帯デジタル通信の有効性および災害発生時の運用に関する研究	株式会社フタバパーツ	¥100,000	100,000円 直接経費 90,000円 間接経費 10,000円 (消費税及び地方消費税を含む)
2015/6/12	2016/1/29	科学技術学部 科学技術学科	東之弘	平成27年度「ふくしまから はじめよう。再生可能エネルギー教育実践事業」	福島県教育委員会	¥7,525,131	
2015/8/1	2016/3/14	科学技術学部 科学技術学科	中尾 剛	Beaconを用いた携帯端末向け地域情報配信アプリケーションの開発と運用に関する研究	株式会社東日本計算センター	¥300,000	300,000円 直接経費 270,000円 間接経費 30,000円 (消費税及び地方消費税を含む)
2015/8/1	2016/3/31	人文学部 心理学科	窪田 文子	平成27年度いわき市一時提供住宅入居者等見守り支援	(株)富士通システムズイースト代理人富士通(株)	¥1,350,000	代理人契約
					総計	¥14,962,131	

#### 平成27年度分 共同研究

契約開始日	契約終了日	学部学科	研究者	研究課題	共同研究機関名	金額	備考
2015/4/1	2016/3/31	科学技術学部 科学技術学科	梅村一之	新規ナノ材料分散剤の開発研究	株式会社分散材料研究所	¥360,000	直接経費 324,000円 間接経費 36,000円 (消費税額及び地方消費税額を含む)
2015/5/1	2016/3/30	科学技術学部 科学技術学科	東之弘	新規炭化水素混合冷媒の熱物性値の精密測定に関する研究	丸八空調工業株式会社 株式会社ジャベックスエネルギー	¥200,000	直接経費 180,000円 間接経費 20,000円 (消費税額及び地方消費税額を含む) ※研究費は丸八空調工業(株)が支出
2015/4/1	2018/3/31	薬学部 薬学科	櫻井映子	イオンマイクロビームによる微量元素イメージング技術の高度化とその応用	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(研究統括責任者) 他9機関	¥0	研究費は契約当事者(研究担当者)の負担
2015/1/22	2015/12/22	科学技術学部 科学技術学科	東之弘	機器の防振装置性能予測システムの開発	株式会社モーションラボ		費用はH26年度に入金済み
2015/2/8	2017/3/31	科学技術学部 科学技術学科 産学連携研究センター	東之弘 鈴木裕宣	熱電発電システムの開発	有限会社テクノサンショウ	¥0	費用はH26年度に入金済み
					総計	¥560,000	

### 平成27年度科学研究費補助金 研究代表者一覧

研究種目	所属	研究者名	研究課題
基金基盤(C)	科学技術学部	岩田 恵理	クマノミ類の社会行動と性別決定メカニズムに関する研究
基金基盤(C)	科学技術学部	井上 知泰	方位選択エピタキシによる複合面方位構造形成における異種方位領域間の完全分離技術
基金基盤(C)	人文学部	鎌田 真理子	権利擁護システム構築の研究
基金基盤(C)	人文学部	石丸 純一	原発事故・避難に伴う地域社会の維持に関する社会学的研究-広野町と楢葉町を事例に
基金基盤(C)	人文学部	大原 貴弘	あくび伝染を規定する気質・性格要因の解明
基金基盤(C)	人文学部	山本 佳子	就労を見通した広汎性発達障害学生への地域連携による対人スキル教育
基金基盤(C)	人文学部	中山 英治	タイの教師間協働の実証的検証と協働実践を促進するネットワーク構築に関する基礎研究
基盤研究(C)	薬学部	角田 大	構造化学的アプローチによる抗多剤耐性HIV薬の開発
基盤研究(C)	薬学部	山崎 勝弘	無承認無許可医薬品・ハーブ中のアルカロイドの新規高感度・迅速分析法の開発
基金基盤(C)	薬学部	松本 司	潰瘍性大腸炎の治療に有用な薬剤開発のための創薬シーズの提供
基盤研究(C)	教養学部	松本 麻子	17世紀における武家歌人の交流と文芸活動について
基盤研究(C)	教養学部	川井 一枝	英語リメディアル教育におけるチャンツの有効性:リズム習得とWT(C)に焦点をあてて
若手研究(B)	人文学部	佐藤 拓	自閉症スペクトラム障害におけるメンタルコントロール:対処方略とその介入法の検討
若手研究(B)	薬学部	鈴木 薫	多剤耐性を克服できる新規抗HIV剤を開発するための構造基盤の解明
若手研究(B)	教養学部	名取 洋典	目標が共有されていく過程についての研究-少年サッカーチームを題材として
若手研究(B)	教養学部	高木 竜輔	原発避難者に対する受け入れ地域住民の態度規程要因に関する社会学的研究
研究スタート支援	教養学部	和足 憲明	地方財政赤字の都市間比較分析

#### ■受賞・表彰

日仏社会学会功労賞受賞（平成27年10月17日） 石丸 純一

#### ■外部発表・研究紀要

▼[科学技術学部](#)

▼[人文学部・教養学部](#)

▼[薬学部](#)

## 8) FD・SD 研修

#### ■全体研修

平成27年度 第1回全学FD・SD研修会

日程：9月10日（木）

テーマ：「いわき地域で必要とされる大学になる道を切り開くために」

参加率：89.1%

平成27年度 第2回全学FD・SD研修会

日程：3月9日（水）

テーマ：「いわき地域で必要とされる大学になる道を切り開くために」（vol.2）

参加率：86.4%

#### ■学部大学院別研修

《人文・教養学部FD》

02月02日 「教養学部における初年次教育の共有化」

参加率：88.6%

#### 《薬学部》

- 05月30日 「第100回薬剤師国家試験結果からの授業・結果等改善策について」  
参加率：92.8%
- 06月27日 「薬学総合試験（教員作成）の必須・理論問題のブラッシュアップ」  
参加率：92.8%
- 07月25日 「薬学総合試験（教員作成）の実践（複合）問題のブラッシュアップ」  
参加率：100%
- 09月26日 ①「CBT問題の作成に関する注意点等」  
②「本学薬学部が生き残るための戦略の立案・作成について」  
参加率：92.8%
- 11月28日 「将来の薬学部発展のための戦略を立案する～SWOT分析の適用～」  
参加率：92.8%
- 12月19日 「薬学部のSWOT分析」  
参加率：96.4%

#### ■職員研修

##### 《階層別研修》

- 07月11日 「管理職研修」  
講師：産能大学 湯川雅弘先生  
場所：かんぽの宿 対象者数：11名
- 10月31日 「中堅職員研修」  
講師：Office CMC 代表 鈴木浩子先生  
場所：かんぽの宿 対象者数：12名

##### 《職員勉強会》

- 07月03日 「平成26年度決算報告及び財務分析」  
講師：棚池部長（明星大学） 参加者数：80名（教職員対象）
- 07月14日 「いわき明星大学の現状」  
講師：荒井事務局長 参加者数：33名
- 07月28日 「いわき明星大学のビジョン」  
講師：荒井事務局長 参加者数：27名
- 09月07日 「いわき明星大学SWOT分析の解説と実践①」  
講師：荒井事務局長 参加者数：34名
- 09月08日 「いわき明星大学SWOT分析の解説と実践②」  
講師：荒井事務局長 参加者数：37名
- 09月29日 「学生・保護者・高校教員、地域・企業へ何が提供できるか？」  
講師：荒井事務局長 参加者数：26名
- 10月13日 「入学者を確保する施策①（オープンキャンパス分析）」



	講師：小松（アドミッションセンター）	参加者数：26名
10月27日	「入学者を確保する施策②」	
	講師：小松（アドミッションセンター）	参加者数：28名
11月24日	「伝達講習」	
	講師：佐々木（教務学生支援センター）	参加者数：27名
12月08日	「学生の満足度を向上させる①」	
	講師：信田（教務学生支援センター）	参加者数：28名
01月19日	「学生の満足度を向上させる②」	
	講師：信田（教務学生支援センター）	参加者数：26名
02月02日	「就職率を向上させる①」	
	講師：樋口（キャリアセンター）	参加者数：16名
02月16日	「就職率を向上させる②」	
	講師：樋口（キャリアセンター）	参加者数：10名
03月01日	「中途退学者を減少させる①」	
	講師：遠藤（教務学生支援センター）	参加者数：11名
03月15日	「中途退学者を減少させる②」	
	講師：遠藤（教務学生支援センター）	参加者数：不明

## 9) 施設・設備

### ■施設貸出一覧

月 日	内 容	備 考
平成27年4月18日	楢葉町サッカー教室	
平成27年4月25日	楢葉町住民説明会	
平成27年5月9日	楢葉町住民説明会	
平成27年5月10日	楢葉町サッカー教室	
平成27年5月24日	福島県U-15サッカーリーグ	
平成27年5月30日	IT技術勉強会	
平成27年6月6日	翔洋学園高等学校スクーリング(全6回)	
平成27年6月13日	楢葉町サッカー教室	
平成27年6月20日	楢葉町住民説明会	
平成27年6月27日	福島大学教員免許状更新講習(必修領域)	
平成27年6月28日	富岡町住民説明会	
平成27年7月2日	第1回防火管理講習	
平成27年7月4日	翔洋学園高等学校スクーリング(全6回)	
平成27年7月4日	いわき市小・中学校教頭会教職員研修	
平成27年7月6日	ふくしま産業復興雇用支援助成金に関する説明会	
平成27年7月12日	第26回福島県ユース(U-15)サッカー選手権大会いわき地区予選会	
平成27年7月15日	鹿島学園高等学校(全5回)スクーリング	
平成27年7月18日	楢葉町サッカー教室	
平成27年7月22日	鹿島学園高等学校(全5回)スクーリング	
平成27年7月25日	翔洋学園高等学校スクーリング(全6回)	
平成27年7月25日	富岡町合併60周年記念式典	
平成27年7月26日	Super Sports XEBIO presents 3×3GAME EXE in Fukushima	
平成27年8月2日	楢葉町サッカー教室	
平成27年8月8日	全統マーク模試(河合塾)	



平成27年8月18日	平成27年度小学生算数講座	
平成27年8月19日	第35回福島県特別支援教育大会いわき大会	
平成27年8月21日	つくば開成高等学校スクーリング	
平成27年9月12日	猪股杯ソフトテニス研修大会	
平成27年9月13日	楢葉町敬老会	
平成27年9月13日	TOEIC公開テスト	
平成27年9月20日	支援者セミナー	
平成27年9月27日	東北社会人サッカーリーグ(バンディッツいわきHG)	
平成27年10月3日	翔洋学園高等学校スクーリング(全6回)	
平成27年10月10日	H27年度いわき市中学校新人体育大会サッカー競技	
平成27年10月11日	中央台保育園運動会	
平成27年10月17日	第28回福島県中学生サッカー新人大会いわき地区代表決定戦	
平成27年10月17日	H27年度 中央台北中祭	
平成27年10月17日	いわき市立中央台南中学校文化祭	
平成27年10月31日	ちびっこ大運動会	
平成27年11月1日	健康に関する講演会(ケーシー高峰氏)	
平成27年11月6日	H27年度第2回日本語検定団体受験	
平成27年11月7日	翔洋学園高等学校スクーリング(全6回)	
平成27年11月7日	新教研模擬テスト	
平成27年11月22日	ソーシャルビジネス講演会	
平成27年11月28日	第4回マーチングフェスティバル	
平成27年12月5日	看護研究発表会	
平成27年12月5日	翔洋学園高等学校スクーリング(全6回)	
平成27年12月5日	いわき大交流フェスタ	
平成27年12月9日	鹿島学園高等学校(全5回)スクーリング	
平成27年12月12日	楢葉町サッカー教室	
平成27年12月16日	鹿島学園高等学校(全5回)スクーリング	
平成27年12月20日	福島復興大型石炭ガス化複合発電設備実証計画(広野)環境影響評価準備説明会	
平成27年12月26日	楢葉町スポーツ教室(こどもバレーボール教室)	
平成28年1月10日	国土交通省認定 運行管理者基本講習	
平成28年1月10日	つくば開成高等学校スクーリング	
平成28年1月23日	東邦銀行 新春資産運用セミナー	
平成28年1月24日	国土交通省認定 運行管理者基本講習	
平成28年1月24日	楢葉町こどもサッカー教室<楢葉町主催>	
平成28年1月30日	発達障害啓蒙講演会	
平成28年1月30日	楢葉町サッカー教室	
平成28年2月3日	下水道排水設備工事責任技術者登録更新講習会	
平成28年2月9日	第2回防火管理講習	
平成28年2月13日	楢葉町サッカー教室	
平成28年2月17日	鹿島学園高等学校スクーリング	
平成28年2月27日	マルチ旅行説明会(海外旅行企画)	
平成28年2月27日	福島県U-15サッカーリーグ2016	
平成28年2月28日	つくば開成高等学校冬期第2回スクーリング	
平成28年3月2日	鹿島学園高等学校(全5回)スクーリング	
平成28年3月3日	中央台剣道スポーツ少年団	
平成28年3月5日	福島県U-15サッカーリーグ2016	
平成28年3月6日	楢葉町サッカー教室	
平成28年3月6日	第8回スプリングコンサート	
平成28年3月7日	富岡町政施行60周年記念企画	
平成28年3月10日	中央台剣道スポーツ少年団	
平成28年3月12日	第34回アルパイン小集団活動本大会	
平成28年3月12日	看護部院内研修	
平成28年3月13日	福島県U-15サッカーリーグ2016	
平成28年3月10日	中央台剣道スポーツ少年団	
平成28年3月19日	学位記授与式当日はかま&着物レンタル着付け	
平成28年3月21日	いわき光洋高等学校吹奏楽部定期演奏会	
平成28年3月24日	中央台剣道スポーツ少年団	

## ■キャンパスマップ



## ■建物修繕履歴

修繕工期：平成27年8月～12月

修繕建物：2号館、3号館、図書館、体育館、厚生館

修繕箇所：外壁シーリングの打替え、照明設備更新、学生食堂厨房機器更新

## 10) 報道・雑誌掲載

- いわき明星大学賞学校弓道 (2015/08/31 福島民報)
- 県吹奏楽コンクール最終日 (2015/08/10 福島民報)
- 車型ロボットを組み立て (2015/08/06 いわき民報)
- ロボット作りに挑戦 小学生 (2015/08/06 福島民友)
- ロボット作りに挑戦 (2015/08/06 福島民報)
- 産学官と協力、人材育成図る (2015/07/22 いわき民報)
- 地域と連携、産業活性へ立案 協議会設立 (2015/07/22 福島民友)
- 産学官連携で人材育成 (2015/07/22 福島民報)
- 2015.07 政経東北 (2015/07 政経東北)
- 2015.06 政経東北 (2015/06 政経東北)
- 「いわき植物詩」正賞 (2015/07/15 福島民報)
- 時評 2015 教養学部松本麻子准教授 (2015/07/14 いわき民報)

- 2015 オープンキャンパス (2015/07/13 いわき民報)
- フラ、映画上映など開く (2015/07/13 いわき民報)
- 学生演出 楽しい時間 表現文化祭 (2015/07/12 福島民友)
- サイバー犯罪被害防止講座 (2015/07/03 福島民友)
- サイバー防犯被害防止へ講座 (2015/07/03 福島民報)
- ストレス対処学ぶ (2015/07/07 福島民報)
- 震災アーカイブ室 川副 早央里さん (2015/07/07 いわき民報)
- 公開講座の受講生募集 (2015/06/19 いわき民報)
- 学生デザイン 献血協力者にバッグ (2015/06/13 福島民報)
- 震災アーカイブ室 川副 早央里さん (2015/06/12 いわき民報)
- 大学生生活体験しよう オーキャンPR (2015/06/12 福島民友)
- 14日、オープンキャンパス (2015/06/10 いわき民報)
- 介護サービス充実を 委員に委嘱状 (2015/06/01 福島民報)
- 進路選択に新聞活用を (2015/05/26 福島民報)
- 震災アーカイブ室 川副 早央里さん (2015/05/15 いわき民報)
- いわきライキ田植え行う (2015/05/11 いわき民報)
- インテリジェント・コスモス奨励賞佐藤助教受賞 (2015/05/09 福島民友)
- 佐藤助教奨励賞インテリジェント・コスモス (2015/05/09 福島民報)
- 2015年度南東北大学野球連盟春季リーグ戦 (2015/04/26 読売新聞)
- 地域基盤型おやけ こういち客員教授 (2015/04/24 いわき民報)
- 誇り持ち実務実習に精励を (2015/04/27 いわき民報)
- 薬剤師の卵 43人実習へ決意新た (2015/04/20 福島民友)
- 実習前に白衣授与式 (2015/04/27 福島民報)
- 南東北大学野球春季リーグ戦 (2015/04/20 いわき民報)
- 石井さんに市民芸術文化栄誉賞 (2015/04/19 いわきよみうり)
- 地域基盤型おやけ こういち客員教授 (2015/04/17 いわき民報)
- 新聞閲覧コーナー設置 (2015/04/16 福島民報)
- 教養学部には第1期生 89人 入学式挙行 (2015/04/15 いわきよみうり)
- 地域基盤型 おやけ こういち客員教授 (2015/04/10 いわき民報)
- 南東北大学野球春季リーグ戦 (2015/04/09 いわき民報)
- 石井さんに市民栄誉賞 (2015/04/08 福島民友)
- 石井さん市民栄誉賞 (2015/04/08 福島民報)
- 入学式 大学生生活希望の一步 (2015/04/04 福島民友)
- 期待胸に入学式 (2015/04/05 福島民報)
- 入学式 有意義な学生生活を (2015/04/04 いわき民報)・AERA 進学MOOK「就職力で選ぶ大学」2015年8月10日
- 福島民報 ふくしまトップインタビュー 2016年1月31日
- FMいわき いわき明星大学キャンパスライフ 2015年4月～2016年3月(毎週土曜)

# 就職に強い「薬科大学・薬学部」

病院、薬局、製薬企業をはじめ一般企業、行政、教育などの幅広い分野で活躍  
日本私立薬科大学協会加盟校の人材ニーズに即した薬学教育



東京薬科大学



京都薬科大学



いわき明星大学

(大学五十五番)

薬に関する深い知識をもって、人々の健康を守る資格である「薬剤師」。今日、医療の現場や、薬局、行政、製薬企業など、薬のスペシャリストとして活躍する領域は幅広い。多様化する人材ニーズに応えられる広い視野と医療人にふさわしい豊かな人間性を身につけた人材を輩出している大学に薬学教育の特徴についてお聞きする。

**いわき明星大学**  
薬学部・中絶元子准教授 本学は学  
校法人同業連合会に加盟し、60年以  
上を期し、2017年に薬学部を  
新設しました。6年制となり、薬  
劑師国家試験（国試）合格への道  
は短縮されていますが、2013年  
3月からの学生から卒業し  
て国試合格者は、全国平均を上ま  
わっています。東北・北関東エリア  
内では、第1回（2013年）は第  
1位（合格者915名、第2回20  
14年は第2位（合格者660  
名）、第3回（2015年）は第  
1位（合格者700名）と、再  
び第1位（合格率70.0%）と国  
試合格者数を伸ばし続けて  
います。  
本学部の教育目的は、「豊かな  
人間性を有し、地域の人の健康  
を率先して守ることが出来る自立  
した薬師を養成すること」です。  
このため、本学では、初  
次から年次に異なる体系的で機動的  
な独自の教育システムを「イ  
グナイト教育（Ignite Educa  
tion）」として展開してい  
ます。  
I-G-N-I-T (Ignite Educa  
tion and Independent Thinking System)  
は、薬学教育の段階で学生の知的  
意欲に自力で点火する「イグ  
ナイト」主体の学びの教育であり、  
自立のためのいわき明星大学学

**自立した薬剤師の基盤を  
つくる「イグナイト教育」  
の実践と成果**

**中絶元子 薬学部教授**  
明成中・高出身、東京農工大  
学農中薬学部薬師、北東大薬学部  
薬師、同薬師一級取得者  
助教2012年、2007年、  
1988年、全学FD-SD委員長

**いわき明星大学**  
所在地 福島県いわき市中央台5-5-1  
Tel / Fax 0246-29-5111 / 0246-29-5105  
URL <http://www.iwaki-meisei.ac.jp/>  
創立 昭和62年(1987年)  
学部 薬学部、看護学部

部教育ネットワークを意味します。  
アライアンスを基本とし、  
る。教育は、コミュニケーション  
力、課題解決、問題解決力、自主  
的学習力の養成を形成することを  
到達目標としています。  
1年次は「生徒から、自ら学ぶ  
学生への姿勢を自ら作り出す」  
なる初年次教育あり、薬学への  
興味と動機づけを意図した内容で、  
学びのための技法や、大学生とし  
ての心構えなどを学びます。2年  
次は各専門領域の教員が、多形  
式による方向学習で、体系的な  
思考力を養成します。3年次は知  
識の定着と活用を図るため、T-B  
L（ティー・ベース）学習の手法を用  
いて、一人では解決できない薬学  
基礎領域の問題をチームで展開し  
て解決しながら、互いに教え、学  
びの力を育みます。さらに4年次

は「イグナイト教育」の成果を基  
盤とするグローバル科目、授業  
「プレゼンテーション」の学びです。  
この「プレゼンテーション」問題基  
盤の学習方法を統合し、本学部独自の  
学習方法により、薬学専門領域の  
応用展開と調査、情報整理、分析  
し、さらに国際レベルの問題への  
解題等を作成します。これらの成  
果物をチームごとにまとめ、プレ  
ゼンテーション形式で発表する能  
力に鍛えられます。社会で必要と  
する力を養成し、薬学に専攻する  
学生たちが確実に、薬学という主  
体の学びを身につけていくの  
教育システムは、本学部の教員と  
学生の協働で、学生一人一人  
を手に掛け、教育実践の原動  
力となつていきます。また、「イグ  
ナイト教育」の教育成果は、教員た  
ちの強いと語れる力にもも  
たを維持しています。

## 新学部開設、より地域に貢献

### いわき明星大学



学長 山崎 洋次氏

昭和六十二年いわき市に開学し三十年の月日が流れた。節目の年の今年四月、三学部目となる看護学部が誕生する。一時代の流れに沿った地域に求められる人材を育成し地域社会の要請に応えたい」と抱負を語る。

国内には看護学部を持つ大学が約二百五十校存在する。人口比でみると、五十万人に一校の割合になる。しかし現状、福島県内で四年制の看護学部を持つ大学は福島医大、一校のみだ。「福島県には看護学部が四

校ぐらい存在しているのが当然だと考えられる。浜通り地域初の学部として意義は大きい」と新学部開設の理由を説明する。  
看護学部開設に向け急ピッチで業務をこなしている大学職員に朗報が聞いている。新入生の推薦枠四十人に対して約六十人の応募があった。一県北や県南地域の学生が多いことも自慢になる。教員スタッフも多彩で、地元のいわき市出身で海外で活躍した優秀な先生もおり、今後に期待してほしいと力を込める。

開設一年目を迎える薬学部も奮闘している。昨年



いわき明星大学

教養学部・薬学部・看護学部(2017年4月開設)  
〒970-8551 いわき市中央台5-5-1  
☎0246-29-5111(代)  
<http://www.iwaki.ac.jp/>